山口市委託調査

2015年山口市観光動態アンケート調査
集計・分析報告書

2016年3月

山口大学経済学部

観光経済経営研究プロジェクト

はじめに

山口市は、人文観光資源としての大内文化や明治維新などの歴史・文化遺産、さらには自然観光資源として、一の坂川や長門峡など豊かな自然景観に恵まれている。長い歴史に育まれた個性的な文化や風土が、落ち着いたまちの佇まいとともに受け継がれているとともに、山口情報芸術センター（YCAM）をはじめ、現代の芸術や文化を育む土壌も形成されつつある。このように豊かな観光資源を保有する山口市を訪れる観光客数は、2014 年は約 431 万 3 千人で、日帰り客の減少で 7 年ぶりに前年比で減少したものの、宿泊客（約 84 万 6 千人）や外国人観光客（約 2 万 6 千人）は増加傾向にある。

本報告書の対象年である 2015 年は、NHK 大河ドラマ「花燃ゆ」が放映され、明治維新策源地としての山口市への関心が高まった年である。さらに、3 月 22 日に湯田温泉にオープンした観光回遊拠点施設「狐の足あと」による回遊行動の活発化も注目される。また、世界スウトジャンボリーや全国健康福祉祭（ねんりんピック）などの全県的なイベントの開催のほか、新山口駅の橋上駅舎・南北自由通路や一の坂川周辺の整備などが行われ、、山口市における観光振興へ向けたさまざまな取り組みが行われている。

山口市において観光振興への注目度が高まるなかで、山口市を訪れる観光客の実態を把握するものとして、山口市観光課が、2009 年から山口市観光動態アンケート調査を実施している。このアンケート調査は、返信用ハガキを用いた調査で、山口市内の主要な観光拠点に訪れた観光客に対して、留置、あるいは、郵送によって回収を行う全国的にも数少ない手法を用いている。実施期間は、2009 年の開始時は 6 か月間、2010 年は 7 か月間、2011 年は 8 か月間であったが、2012 年から通年での実施となった。これにより、一層のデータ収集と蓄積が可能となったことはいうまでもない。

本報告書は、その調査結果について 2015 年の観光客の動向や満足度のほか、2009 年から 2015 年における 7 か年の時系列での集計結果、そして、調査結果から見える山口市の観光振興へ向けた課題と提言をまとめたものであり、今後の山口市の施策や事業の評価および企画に活用されることが期待される。

なお、本報告書の作成は、山口市と山口大学との包括的連携協定の一環として、山口市観光課から山口大学経済学部観光経済経営研究プロジェクトに委託されたものである。本報告書における調査結果の分析と報告書の作成は、齋藤英智（経済学部准教授）と齋藤ゼミの学生によって行った。本報告書の過誤は齋藤がすべての責任を負っている。

山口大学経済学部
観光経済経営研究プロジェクト

目　次

はじめに i
目　次 ii
第 1 部　2015 年の調査結果 1
1-1 調査結果の概要 1
1-1-1 調査方法 1
1-1-2 地域区分 2
1-1-3 単純集計結果 3
1-2 旅行者の属性によるクロス集計結果 28
1-2-1 性別にみた旅行者の特徴 28
1-2-2 年齢別にみた旅行者の特徴 31
1-2-3 居住地別にみた旅行者の特徴 34
1-2-4 旅行グループ別にみた旅行者の特徴 39
1-2-5 山口市外の訪問地区 40
1-2-6 旅行のきっかけとなった情報源 45
1-3 湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」と周遊 53
1-3-1 「狐の足あと」訪問者の特徴 53
1-3-2 情報媒体としての「狐の足あと」 58
1-4 旅行の評価と満足度 62
1-4-1 山口市までの交通手段別の評価 62
1-4-2 山口市内での移動手段別の評価 68
1-4-3 山口市内の周遊行動における満足度 74
1-4-4 訪問者の情報源別評価と満足度 83
1-4-5 満足度の決定要因 86
付表　単純集計結果一覧表 90
調査票（2015 年版） 98
第 2 部　2009 年～2015 年における時系列の集計結果 100
2-1 性別 100
2-2 年齢 101
2-3 職業 102
2-4 居住地 103
2-5 山口市以外の立ち寄りエリア 105
2-6 旅行の主な目的 106
2-7 山口市を候補にあげたきっかけの媒体 107
2-8 旅行の同行者 108
2-9 旅行の同行人数 109
2-10 山口市への旅行回数 110
2-11 山口市への訪問月 111
2-12 山口市までの主な交通手段 112

2-13 山口市内での主な移動手段 113
2-14 今回の旅行の全行程 114
2-15 山口市内での宿泊数 115
2-16 山口市内での平均消費額 116
2-17 山口市内での宿泊地 117
2-18 旅行の評価と満足度 118
2-19 旅行において重視する項目 132
2-20 山口市の魅力 140
2-21 山口市内で立ち寄った観光施設数 149
2-22 山口市内での旅行中の情報 150
2-23 山口市への再訪問の意思 153
第 3 部　山口市における観光の現状・課題と提言 154
3-1 山口市における観光の現状と課題 154
3-1-1 アンケート集計結果からみる山口市観光の現状 154
3-1-2 アンケート集計結果からみる山口市観光の課題 161
3-2 山口市の観光振興へ向けての提言 163
3-2-1 提言 163
3-2-2 おわりに 164

第 1 部　2015 年の調査結果

1-1　調査結果の概要

1-1-1　調査方法

アンケート調査は、山口市に訪れた訪問客を対象として、表 1-1-1 に示す山口市内 22 地点にハガキ形式のアンケート票を設置して、2015 年 1 月から 2015 年 12 月にかけて回収している。本調査は 2009 年から継続して行っており、2012 年からは表中の 18 番から 20 番の宿泊施設 3 か所での設置を追加し、さらに 2013 年から表中 21 番の YCAM（山口情報芸術センター）、2015 年 3 月から表中 22 番の湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」を追加して実施している。なお、アンケート票については、添付の資料を参照されたい。

調査方法は、留置調査で訪問客自身に記入してもらい、その場で回収ボックスにより回収する方法と、調査票（ハガキ）の郵送によって回収する方式の 2 通りの方法をとった。

2015 年の回収総数は、1,339 枚であった。本報告書では、配布場所個別での集計は、郵送での回収の場合特定が困難であるため、すべてを合わせて集計した結果についてまとめている。

表 1-1-1　アンケート配布場所

1	山口市菜香亭
2	中原中也記念館
3	小郡文化資料館
4	重源の郷
5	ふれあいパーク大原湖
6	国民宿舎あいお荘（秋穂）
7	特産物加工販売所「南大門」
8	道の駅「きらら　あじす」
9	道の駅「仁保の郷」
10	道の駅「あいお」
11	道の駅「長門峡」
12	道の駅「願成就温泉」
13	山口駅観光案内所
14	新山口駅観光案内所
15	湯田温泉観光案内所
16	香山公園前観光案内所
17	大路ロビー
18	サンルート山口
19	ホテル松政
20	ビジネスホテルきらく
21	YCAM（山口情報芸術センター）
22	湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」

1-1-2　地域区分

本報告書で集計する全国の地方区分は表 1-1-2 の通りであり、山口県内の地域区分は、表 1-1-3 に示す通りである。

表 1-1-2　全国の地方区分

北海道	北海道	甲信越	新潟県	中国	鳥取県
東北	青森県		富山県		島根県
	岩手県		石川県		岡山県
	宮城県		福井県		広島県
	秋田県		山梨県		山口県
	山形県		長野県	四国	徳島県
	福島県	東海	岐阜県		香川県
関東	茨城県		静岡県		愛媛県
	栃木県		愛知県		高知県
	群馬県		三重県	九州	福岡県
	埼玉県	近畿	滋賀県		佐賀県
	千葉県		京都府		長崎県
	東京都		大阪府		熊本県
	神奈川県		兵庫県		大分県
			奈良県		宮崎県
			和歌山県		鹿児島県
					沖縄県

表 1-1-3　山口県の地域区分

東部	岩国市	中部	防府市
	和木町		山口市
	周防大島町		美祢市
	柳井市	北部	萩市
	田布施町		長門市
	上関町		阿武町
	平生町	西部	下関市
	光市		宇部市
	周南市		山陽小野田市
	下松市		

1-1-3　単純集計結果

ここでは、アンケート票回収によって得られた各質問に対する回答の単純集計結果についてまとめる。

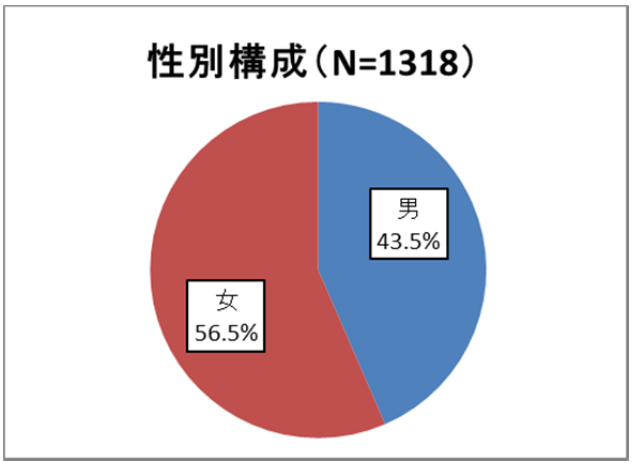
（1）性別

表 1-1-4 は、性別の回答数と割合を表したものである。男性が 43.5% 、女性が 56.5%で、女性が多かった。

表 1-1-4　性別の回答数

性別	回答数	%
男	573	43.5%
女	745	56.5%
回答数計	1,318	100.0%

図 1-1-1　性別構成



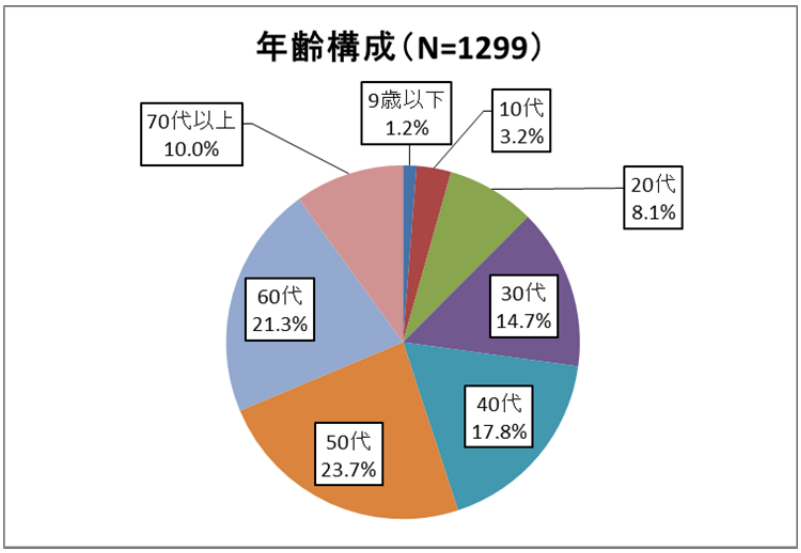
（2）年齢

表 1-1-5 は、年齢別の回答数を表したものである。50 代が最も多く 23.7 %である。次に多いのが 60 代の 21.3%である。30 代から 40 代が 14～18%でほぼ同数であった。一方、最も少ない年齢層は 9 歳以下で 1.2%であり、10 代は 3.2%、20 代は 8.1% 、70 代以上 10.0%となっている。

表 1-1-5　年齢別の回答数

年齢	回答数	%
9歳以下	16	1.2%
10代	41	3.2%
20代	105	8.1%
30代	191	14.7%
40代	231	17.8%
50代	308	23.7%
60代	277	21.3%
70代以上	130	10.0%
回答数計	1,299	100.0%

図 1-1-2　年齢構成



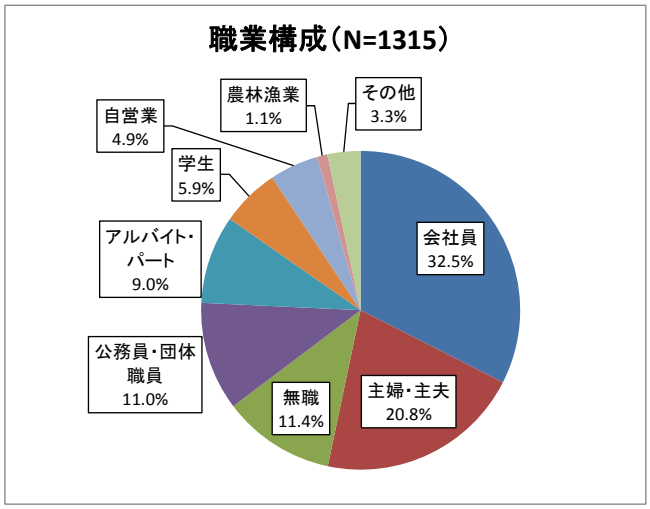
（3）職業

表 1-1-6 は、職業別の回答数を表したものである。最も多いのは会社員の 32.5%であり、次いで主婦・主夫の 20.8%である。3 番目は無職の 11.4%である。

表 1-1-6　職業

職業	回答数	%
会社員	427	32.5%
農林漁業	14	1.1%
自営業	65	4.9%
公務員・団体職員	145	11.0%
学生	78	5.9%
主婦・主夫	274	20.8%
アルバイト・パート	118	9.0%
無職	150	11.4%
その他	44	3.3%
回答数計	1,315	100.0%

図 1-1-3　職業構成



（4）居住地

表 1-1-7 は、居住地別の回答数を表したものである。まず全回答を山口県内外に区分した場合、24.8%が山口県内居住者であり、75.2%が山口県外の居住者であった。なお、今回の調査では海外からの訪問者は確認されなかった。

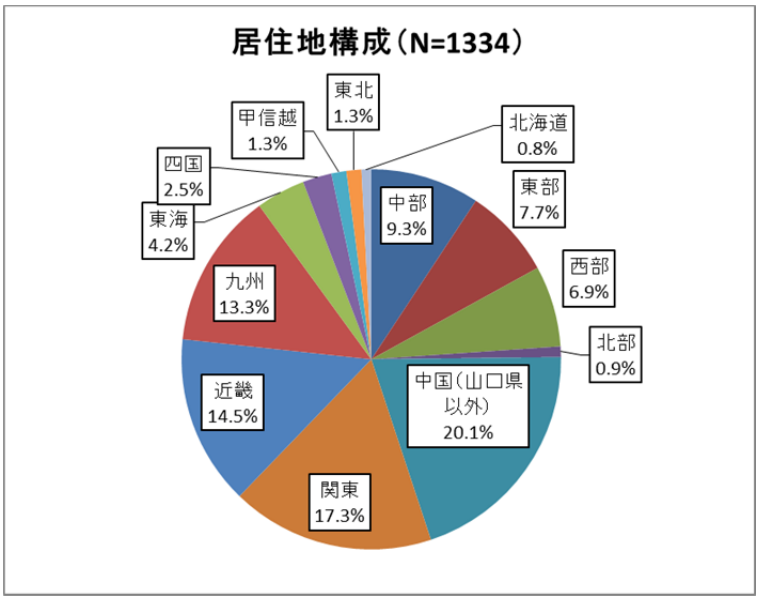
山口県内の居住者を東部、中部、北部、西部の 4 地域に区分すると、中部地域が最も多く、次いで東部地域が多くなっている。また、近隣の県については、広島県が 13.9%、福岡県が 9.0%である。山口県内は 24.8%であることから、山口市への訪問者は約半数が山口県民と両隣の県民ということになる。

さらに地方別に区分すると、山口県を除く中国地方が 20.1%と最も多く、次いで関東が 17.3%、近畿が 14.5%と続いている。

表 1-1-7　居住地別の回答数

居住地		回答数	%
山口県内	東部	103	7.7%
	中部	124	9.3%
	北部	12	0.9%
	西部	92	6.9%
	山口県計	331	24.8%
山口県外	北海道	11	0.8%
	東北	17	1.3%
	関東	231	17.3%
	甲信越	17	1.3%
	東海	56	4.2%
	近畿	193	14.5%
	中国（山口県以外）	268	20.1%
	鳥取県	11	0.8%
	島根県	37	2.8%
	岡山県	34	2.5%
	広島県	186	13.9%
	四国	33	2.5%
	九州	177	13.3%
	福岡県	120	9.0%
	山口県外計	1003	75.2%
回答数計		1,334	100.0%

図 1-1-4　県内・県外居住地構成



(5) 山口市以外の立ち寄り地区

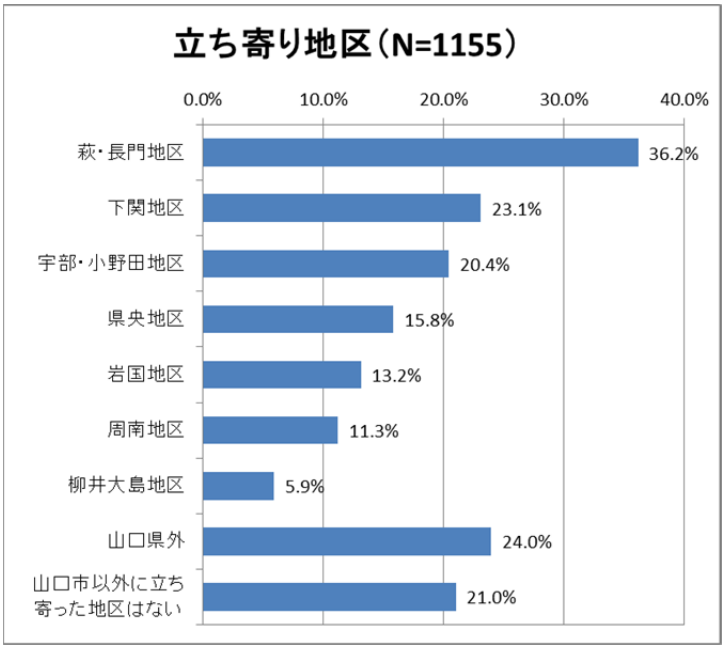
表 1-1-8 は、山口市以外で立ち寄った地区の割合を示したものである。複数回答項目であるため分母を回答者数の 1,155 として立ち寄り地区の割合を算出すると、山口県内においては、萩・長門地区が 36.2%と最も多く、下関地区が 23.1%、宇部・小野田地区が 20.4%と続く。一方で、山口市以外に立ち寄った地区はないとする回答割合は 21.0%であった。なお、山口県外への立ち寄りは 24.0%となっている。

表 1-1-8　立ち寄り地区

立ち寄り地区	回答数	%
岩国地区	152	13.2%
柳井大島地区	68	5.9%
周南地区	130	11.3%
県央地区	183	15.8%
萩・長門地区	418	36.2%
下関地区	267	23.1%
宇部・小野田地区	236	20.4%
山口県外	277	24.0%
山口市以外に立ち寄った地区はない	243	21.0%
合計	1,974	170.9%
回答者数計	1,155	100.0%

注）複数回答項目である。

図 1-1-5　立ち寄り地区の割合



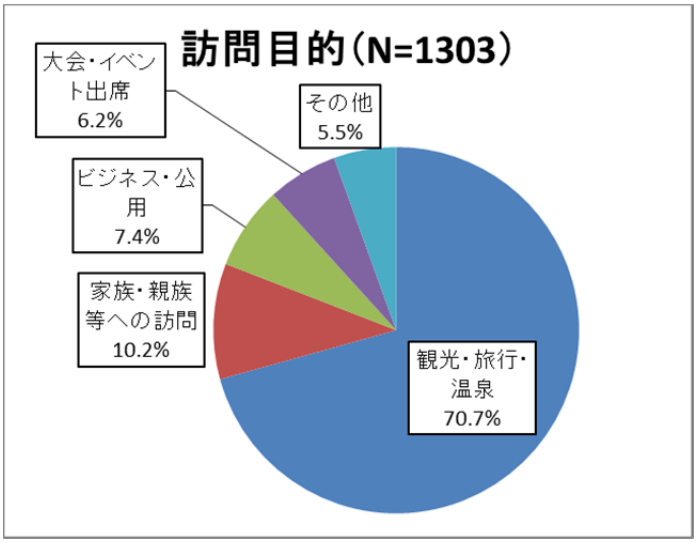
(6) 旅行の主な目的

表 1-1-9 は、旅行の主な目的を示したものである。旅行の目的は観光・旅行・温泉が 70.7%と最も多く、次いで家族・親族等への訪問が 10.2%である。大会・イベント出席は 6.2%、ビジネス・公用は 7.4%であった。

表 1-1-9　旅行目的

主な目的	回答数	%
観光・旅行・温泉	921	70.7%
ビジネス・公用	96	7.4%
家族・親族等への訪問	133	10.2%
大会・イベント出席	81	6.2%
その他	72	5.5%
回答数計	1,303	100.0%

図 1-1-6　旅行目的（構成）



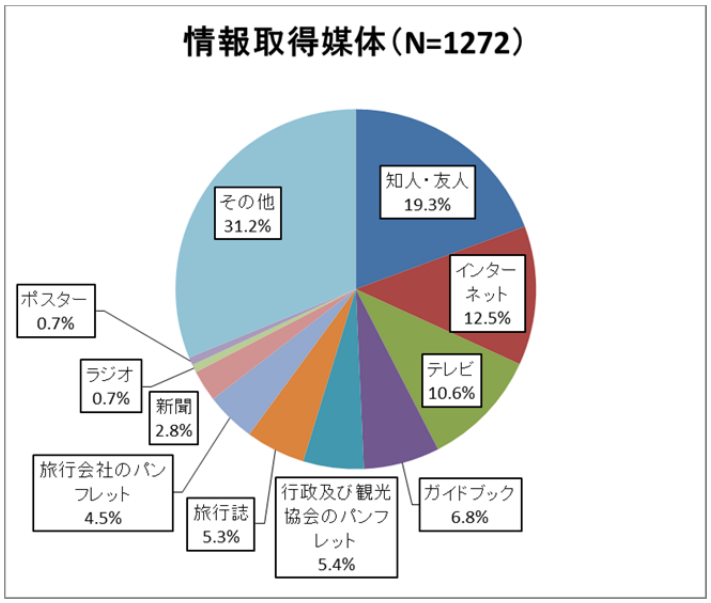
（7）山口市を候補にあげた情報媒体

表 1-1-10 は、山口市を旅行先の候補にあげた情報媒体別の回答数である。その他が 31.2%と最も多いものの、知人・友人が 19.3%、インターネットが 12.5%、テレビが 10.6%となっている。

表 1-1-10　山口市をあげた情報媒体

山口市を挙げたきっかけ	回答数	%
テレビ	135	10.6%
ラジオ	9	0.7%
新聞	36	2.8%
旅行誌	68	5.3%
ガイドブック	87	6.8%
ポスター	9	0.7%
行政及び観光協会のパンフレット	69	5.4%
旅行会社のパンフレット	57	4.5%
知人・友人	246	19.3%
インターネット	159	12.5%
その他	397	31.2%
回答数計	1,272	100.0%

図 1-1-7　山口市をあげた情報媒体（構成）



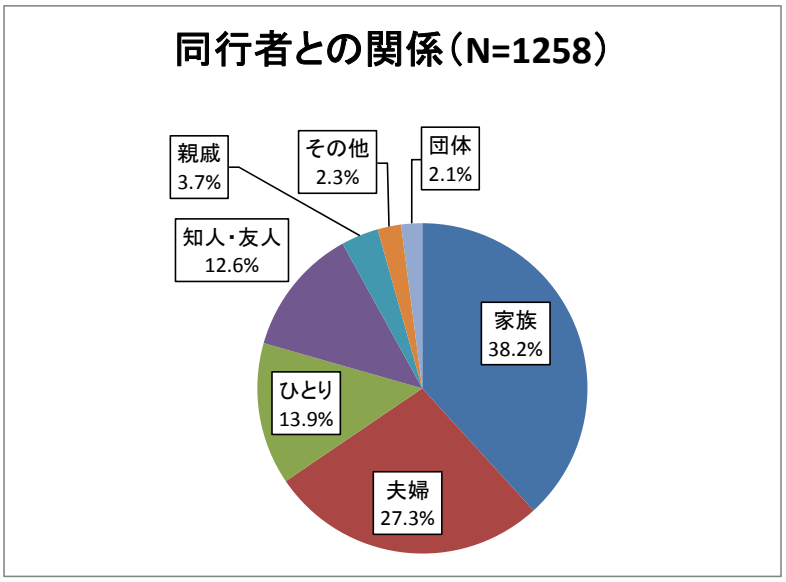
（8）旅行の同行者との関係

表 1-1-11 は、旅行の同行者との関係について示したものである。家族が 38.2%と最も多く、次いで、夫婦が 27.3%、ひとりが 13.9%、知人・友人が 12.6%、親戚が 3.7%となっている。

表 1-1-11　旅行の同行者との関係

同行者	回答数	%
ひとり	175	13.9%
家族	481	38.2%
夫婦	343	27.3%
親戚	46	3.7%
友人・知人	158	12.6%
団体	26	2.1%
その他	29	2.3%
回答数計	1,258	100.0%

図 1-1-8　旅行の同行者との関係（構成）



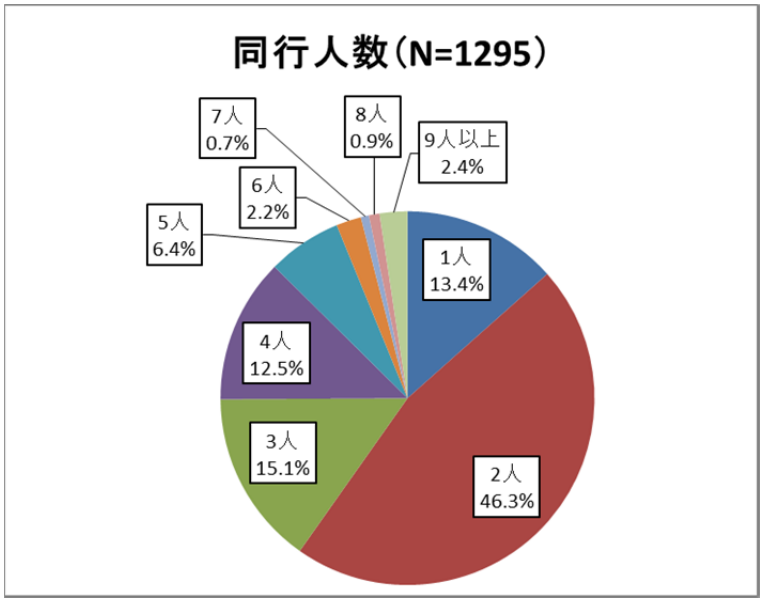
（9）旅行の同行者の人数

表 1-1-12 は、旅行の同行者の自分自身を含めた人数を示したものである。2 人が 46.3%と最も多く、次に 3 人が 15.1%、同行者なしの 1 人が 13.4%である。

表 1-1-12　旅行の同行者の人数

同行人数	回答数	%
1人	174	13.4%
2人	600	46.3%
3人	196	15.1%
4人	162	12.5%
5人	83	6.4%
6人	28	2.2%
7人	9	0.7%
8人	12	0.9%
9人以上	31	2.4%
回答数計	1295	100.0%

図 1-1-9　旅行の同行者の人数構成



（10）山口市への旅行回数

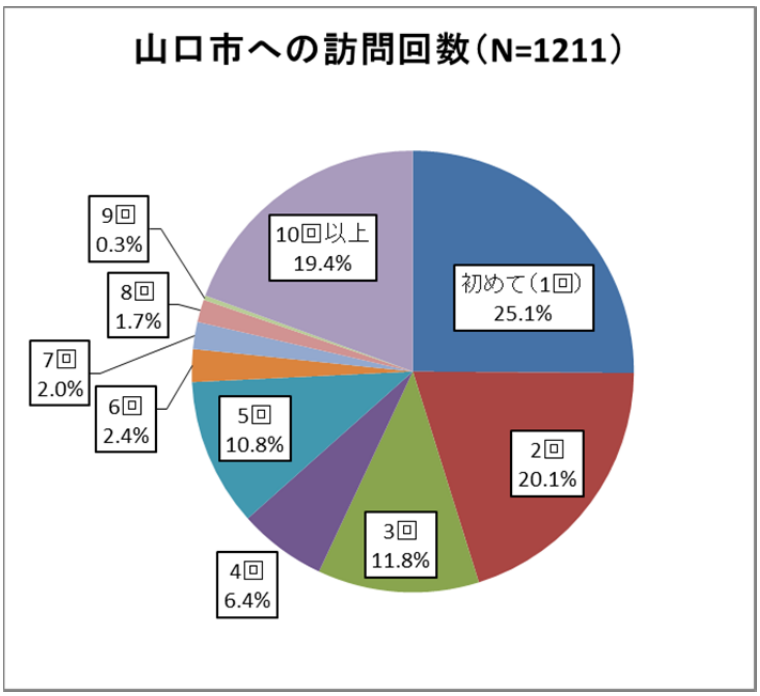
表 1-1-13 は、山口市への旅行回数を示したものである。初めての 1 回が 25.1%と最も多く、次いで 2 回が 20.1%、10 回以上が 19.4%、3 回が 11.8%となっている。

初めて訪れた旅行者は全体の 25.1%であるが、リピーターは 74.9%となった。

表 1-1-13　山口市への旅行回数

旅行回数	回答数	%
初めて（1回）	304	25.1%
2回	243	20.1%
3回	143	11.8%
4回	78	6.4%
5回	131	10.8%
6回	29	2.4%
7回	24	2.0%
8回	20	1.7%
9回	4	0.3%
10回以上	235	19.4%
回答数計	1,211	100.0%

図 1-1-10　初めて訪れた旅行者とリピーター（構成）



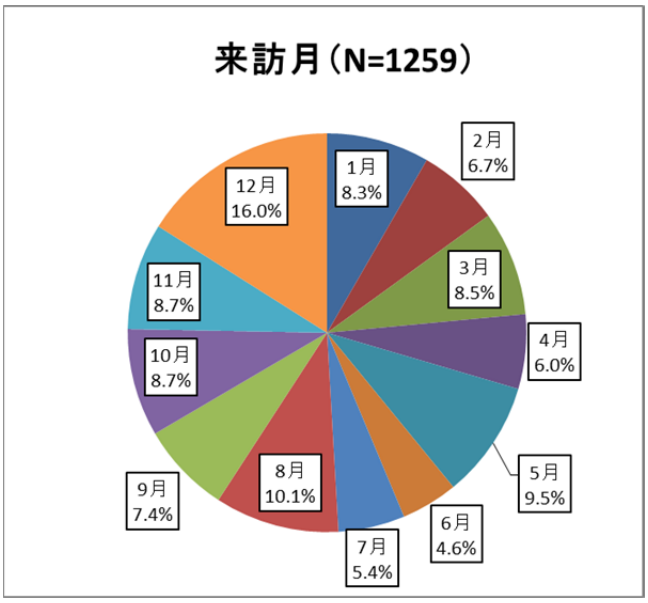
（11）山口市への来訪月

表 1-1-14 は、山口市への来訪月を示したものである。12 月が最も多く 16.0%であり、次いで 8 月が 10.1%、5 月が 9.5%であり、休暇日の多い月の訪問が比較的多い。一方で、6 月が最も少なく 4.6%であった。

表 1-1-14　山口市への来訪月

来訪月	回答数	%
1月	105	8.3%
2月	84	6.7%
3月	107	8.5%
4月	76	6.0%
5月	120	9.5%
6月	58	4.6%
7月	68	5.4%
8月	127	10.1%
9月	93	7.4%
10月	110	8.7%
11月	109	8.7%
12月	202	16.0%
回答数計	1,259	100.0%

図 1-1-11　山口市への来訪月（構成）



（12）山口市までの主な交通手段

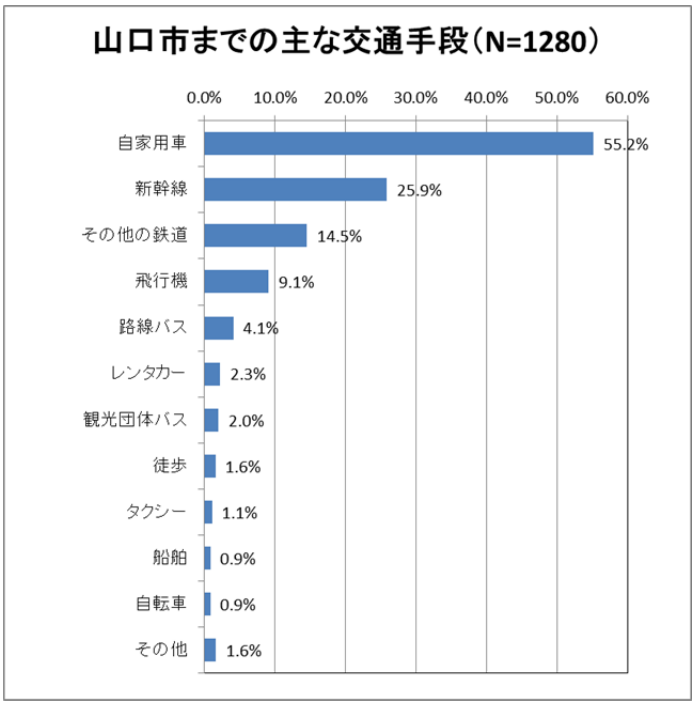
表 1-1-15 は、山口市までの主な交通手段を示したものである。複数回答項目であるため、回答者数を分母として利用割合を算出すると、最も多いのは自家用車の 55.2%であり、次いで、新幹線の 25.9%、その他の鉄道が 14.5%であった。

表 1-1-15　山口市までの交通手段

交通手段	回答数	%
新幹線	331	25.9%
その他の鉄道	186	14.5%
自家用車	706	55.2%
船舶	11	0.9%
観光団体バス	26	2.0%
路線バス	53	4.1%
タクシー	14	1.1%
レンタカー	29	2.3%
飛行機	117	9.1%
自転車	11	0.9%
徒歩	20	1.6%
その他	21	1.6%
合計	1,525	119.1%
回答者数	1,280	100.0%

注）複数回答項目である。

図 1-1-12　山口市までの交通手段



（13）山口市内での主な移動手段

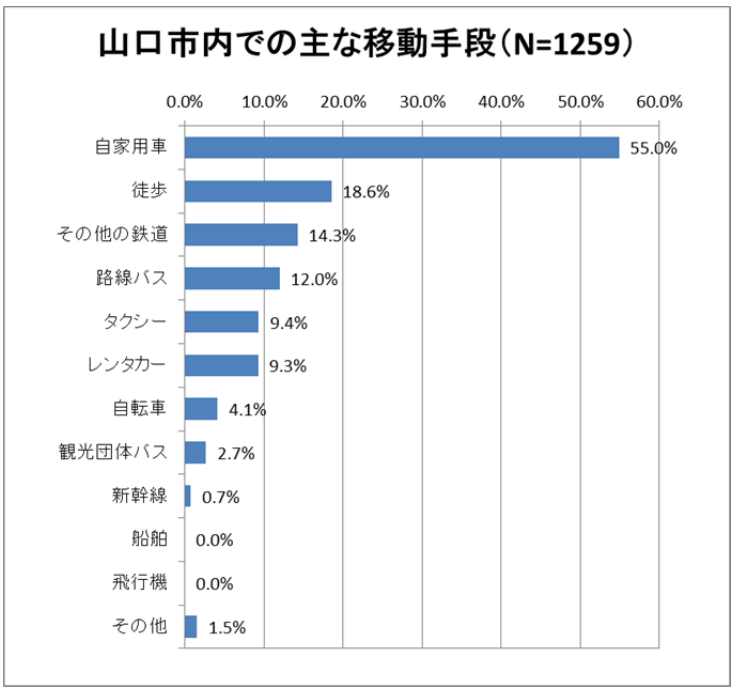
表 1-1-16 は、山口市内での主な移動手段である。複数回答項目であるため、回答者数を分母として利用割合を算出すると、自家用車が最も多く 55.0%であった。次いで徒歩が 18.6%、その他の鉄道が 14.3%と続く。

表 1-1-16　山口市内での移動手段

移動手段	回答数	%
新幹線	9	0.7%
その他の鉄道	180	14.3%
自家用車	692	55.0%
船舶	0	0.0%
観光団体バス	34	2.7%
路線バス	151	12.0%
タクシー	118	9.4%
レンタカー	117	9.3%
飛行機	0	0.0%
自転車	52	4.1%
徒歩	234	18.6%
その他	19	1.5%
合計	1,606	127.6%
回答者数	1,259	100.0%

注）複数回答項目である。

図 1-1-13　山口市内での移動手段



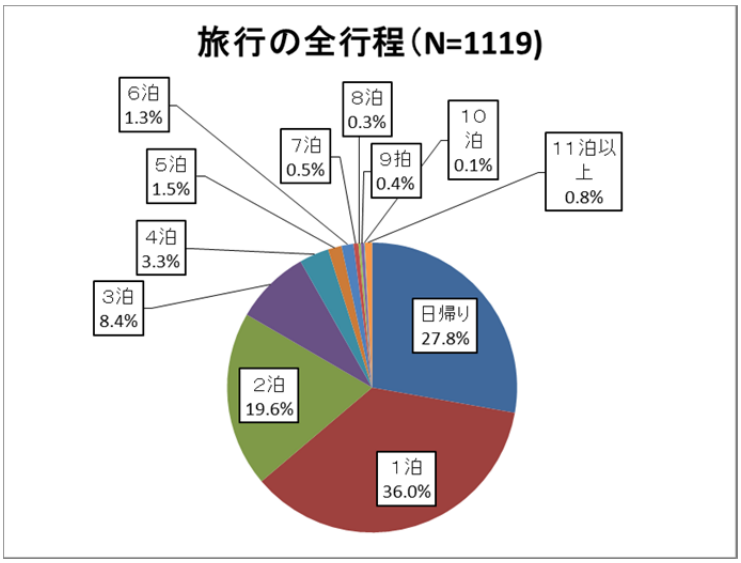
（14）今回の旅行の全行程

表 1-1-17 は、今回の旅行の全行程を示したものである。1 泊が 36.0%と最も多く、次いで日帰りの 27.8%が多くなっている。なお、通常の旅行動向からいえば、日帰りの割合が高くなるのが一般的であるが、県外からの旅行者が 75%を占めるうえに、宿泊施設でもアンケート票を配布していることから宿泊者の回収数が多く、割合も高くなっていることが推測される。以下、本報告書で旅行の行程を考察する際はこの点に注意を要する。

表 1-1-17　旅行の全行程

旅行の全行程	回答数	%
日帰り	311	27.8%
1泊	403	36.0%
2泊	219	19.6%
3泊	94	8.4%
4泊	37	3.3%
5泊	17	1.5%
6泊	15	1.3%
7泊	6	0.5%
8泊	3	0.3%
9拍	4	0.4%
10泊	1	0.1%
11泊以上	9	0.8%
回答数計	1,119	100.0%

図 1-1-14　旅行の全行程



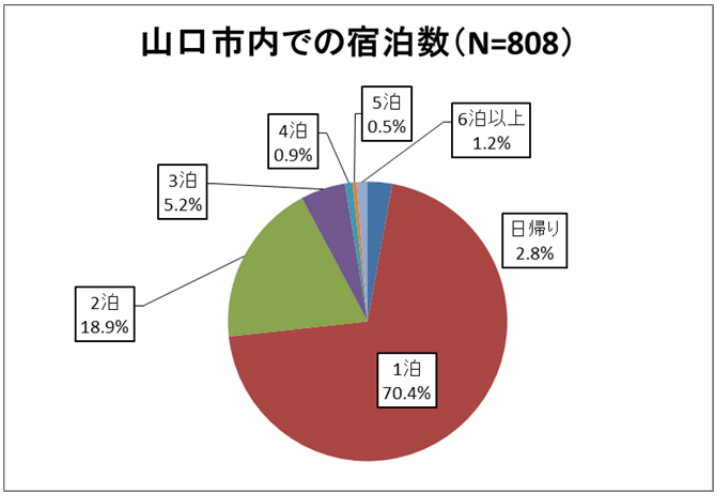
（15）山口市内での宿泊日数

表 1-1-18 は、旅行の全行程で宿泊している旅行者のうち、山口市内で何泊しているかを示したものである。1 泊が 70.4%と最も多く、次いで 2 泊の 18.9%となっている。日帰り（無泊）は 2.8%で、山口市内で宿泊している旅行者が多いことがわかる。

表 1-1-18　山口市内での宿泊日数

山口市内宿泊数	回答数	%
日帰り	23	2.8%
1泊	569	70.4%
2泊	153	18.9%
3泊	42	5.2%
4泊	7	0.9%
5泊	4	0.5%
6泊以上	10	1.2%
回答数計	808	100.0%

図 1-1-15　山口市内での宿泊日数



（16）山口市内での平均消費額

表 1-1-19 は、山口市内での平均消費額を示したものである。宿泊費が 17,365 円で最も多く、次いで、交通費が 5,921 円となっている。合計額は約 38,000 円となっている。

表 1-1-19　平均消費額

	消費金額
宿泊費	¥17,365
飲食費	¥5,313
土産物	¥4,635
交通費	¥5,921
施設見学料	¥1,338
その他	¥3,335
合計	¥37,907

図 1-1-16　平均消費額（単位：円）

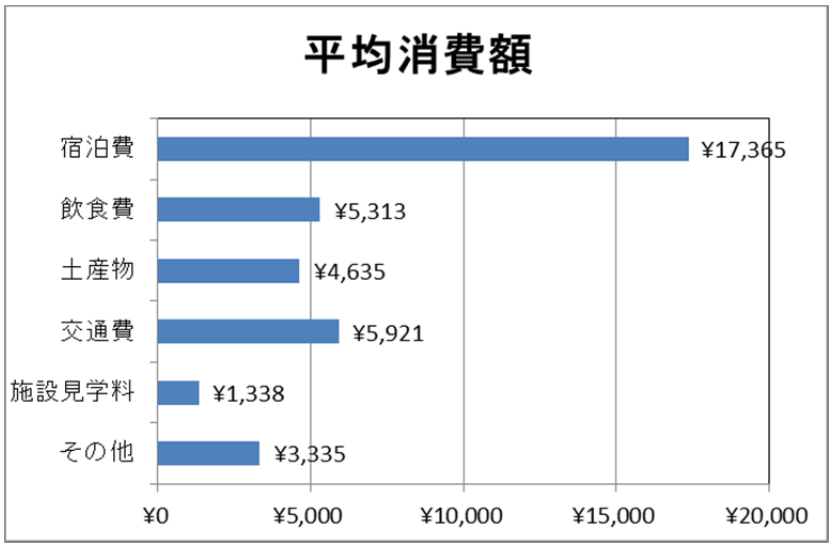


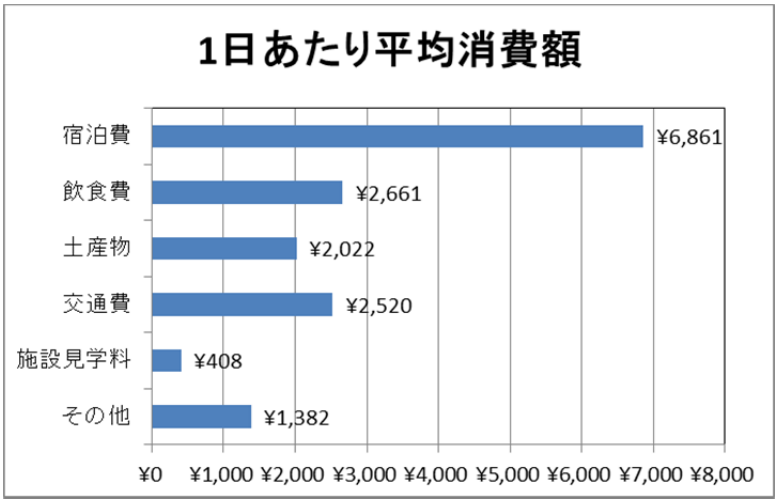
表 1-1-20 は、複数日に亘る宿泊数を考慮して 1 日あたりに換算した山口市内での平均消費額を示したものである。宿泊費が 6,861 円で最も多く、次いで、飲食費が 2,661 円となっている。合計額は約 16,000 円となっている。

表 1-1-20　1 日あたり平均消費額

	消費金額
宿泊費	¥6,861
飲食費	¥2,661
土産物	¥2,022
交通費	¥2,520
施設見学料	¥408
その他	¥1,382
合計	¥15,854

注）計算上、6 泊以上を除いているため、平均消費額と整合性がとれない場合もある。

図 1-1-17　1 日あたり平均消費額（単位：円）



（17）山口市内での宿泊地

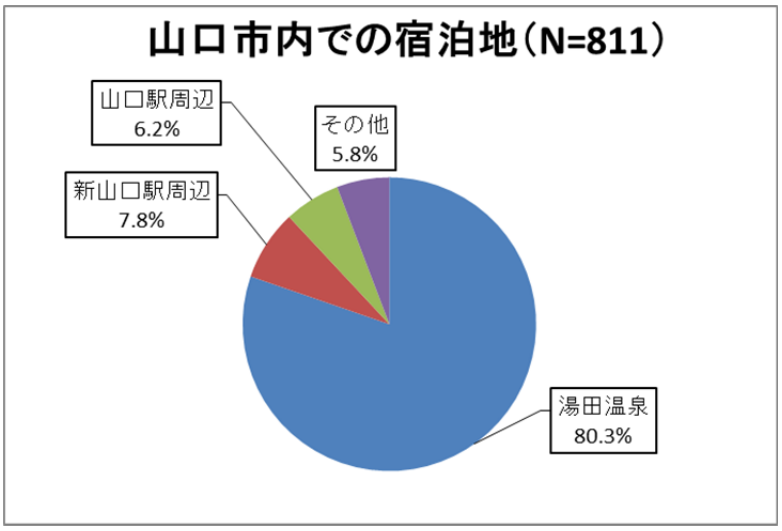
表 1-1-21 は、山口市内での宿泊地を示したものである。複数回答であるが、便宜上合計値を分母として割合を算出すると、湯田温泉が 80.3%で最も多く、次いで新山口駅周辺の 7.8%となっている。

表 1-1-21　山口市内での宿泊地

宿泊地	回答数	%
湯田温泉	651	80.3%
新山口駅周辺	63	7.8%
山口駅周辺	50	6.2%
その他	47	5.8%
合計	811	100.0%

注）この質問は複数回答のため、構成比を算出する際、分母を合計値とすることは本来不適切であるが、宿泊日数にも依存して解釈が複雑になるため、全体のシェアを示す参考として合計値を分母としている。

図 1-1-18　山口市内での宿泊地



（18）山口市内での宿泊地と平均消費額

ここでは、山口市内での宿泊地別の平均消費額をみていく。平均消費額は、旅行の目的別に集計している。なお、宿泊数によって平均消費額が増減することが考えられるが、ここでは宿泊数を考慮せず平均消費額を算出しているので注意が必要である。

表 1-1-22 は、宿泊地別の平均消費額を示したものである。宿泊費は、宿泊地と旅行目的によって異なっており、傾向性はみられない。飲食費は、山口駅周辺での宿泊者が全体的に平均消費額が高い傾向にある。土産物は、観光・旅行・温泉は山口駅周辺で高く、ビジネス・公用、家族・親戚等への訪問、大会・イベント出席では湯田温泉が高い傾向にある。交通費は、新山口駅が全体的に低く、山口駅周辺が高くなっている。施設見学料は、ビジネス・公用や大会・イベント出席を目的とする場合、低い傾向にあり、相乗効果を狙って観光施設へ誘導する余地があることを示している。

表 1-1-22　宿泊地別・旅行目的別平均消費額

		湯田温泉	新山口駅周辺	山口駅周辺
宿泊費	観光・旅行・温泉	19,563	15,201	20,700
	ビジネス・公用	13,974	16,300	14,575
	家族・親族等への訪問	16,538	31,700	5,700
	大会・イベント出席	14,139	7,000	10,000
	その他	17,718	15,500	47,000
	平均	16,386	17,140	19,595
飲食費	観光・旅行・温泉	5,211	7,560	9,520
	ビジネス・公用	8,500	6,391	8,429
	家族・親族等への訪問	7,062	6,200	8,833
	大会・イベント出席	6,090	5,250	8,000
	その他	7,752	9,250	5,000
	平均	6,923	6,930	7,956
土産物	観光・旅行・温泉	5,069	4,821	6,684
	ビジネス・公用	4,953	2,682	3,000
	家族・親族等への訪問	6,793	5,400	2,833
	大会・イベント出席	5,037	4,333	4,500
	その他	3,950	4,333	5,000
	平均	5,160	4,314	4,403
交通費	観光・旅行・温泉	6,092	5,096	11,121
	ビジネス・公用	6,527	7,529	8,750
	家族・親族等への訪問	7,579	3,917	11,834
	大会・イベント出席	8,328	1,250	2,000
	その他	8,941	7,750	3,000
	平均	7,493	5,108	7,341
施設見学料	観光・旅行・温泉	1,657	1,287	1,647
	ビジネス・公用	414	60	500
	家族・親族等への訪問	1,229	6,600	2,750
	大会・イベント出席	702	400	850
	その他	676	1,125	320
	平均	935	1,894	1,213

図 1-1-19　宿泊地別平均消費額（宿泊費）

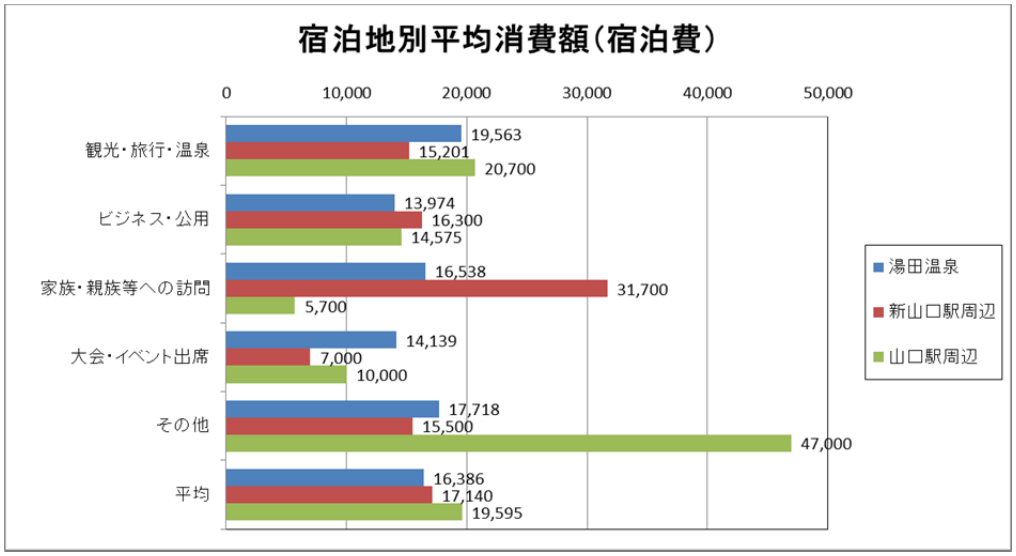


図 1-1-20　宿泊地別平均消費額（飲食費）

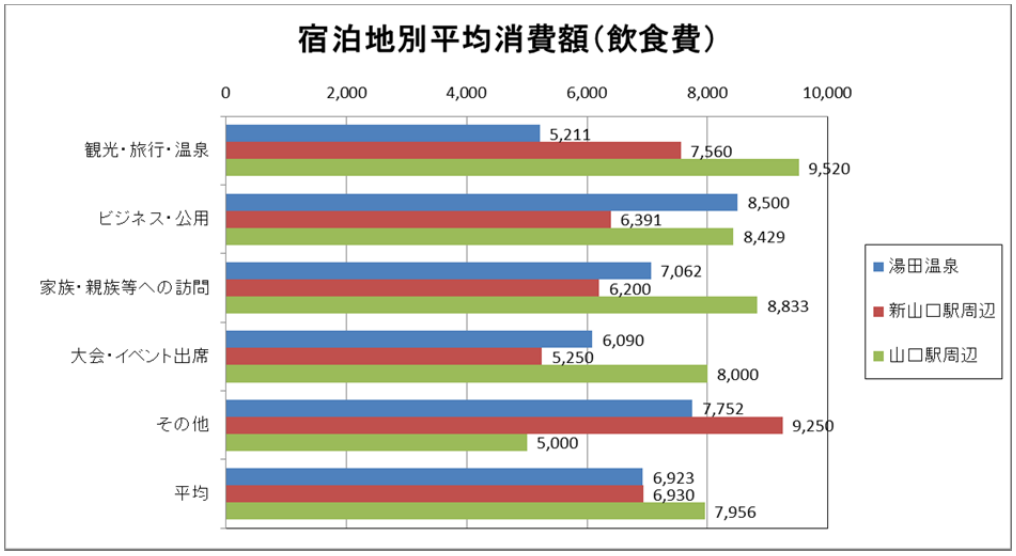


図 1-1-21　宿泊地別平均消費額（土産物）

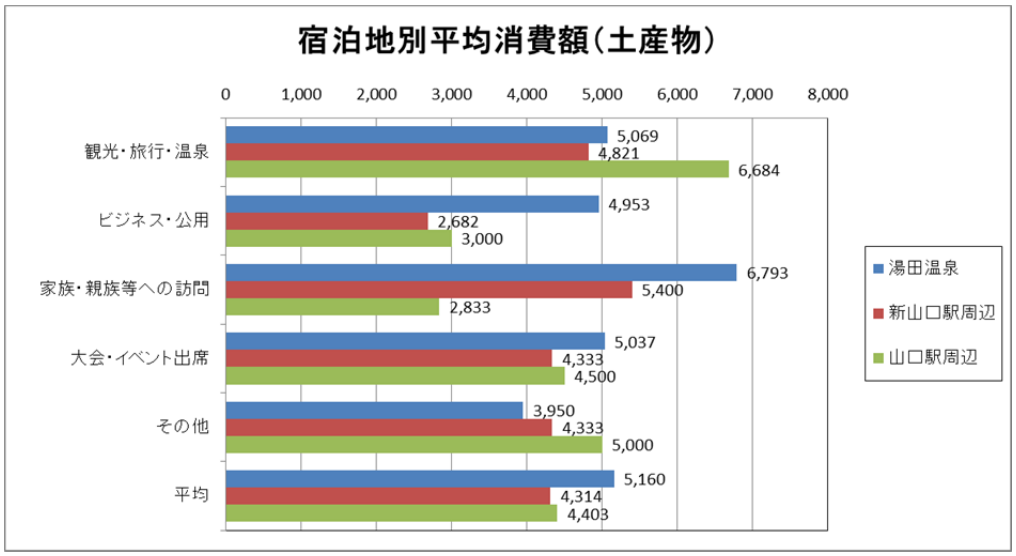


図 1-1-22　宿泊地別平均消費額（交通費）

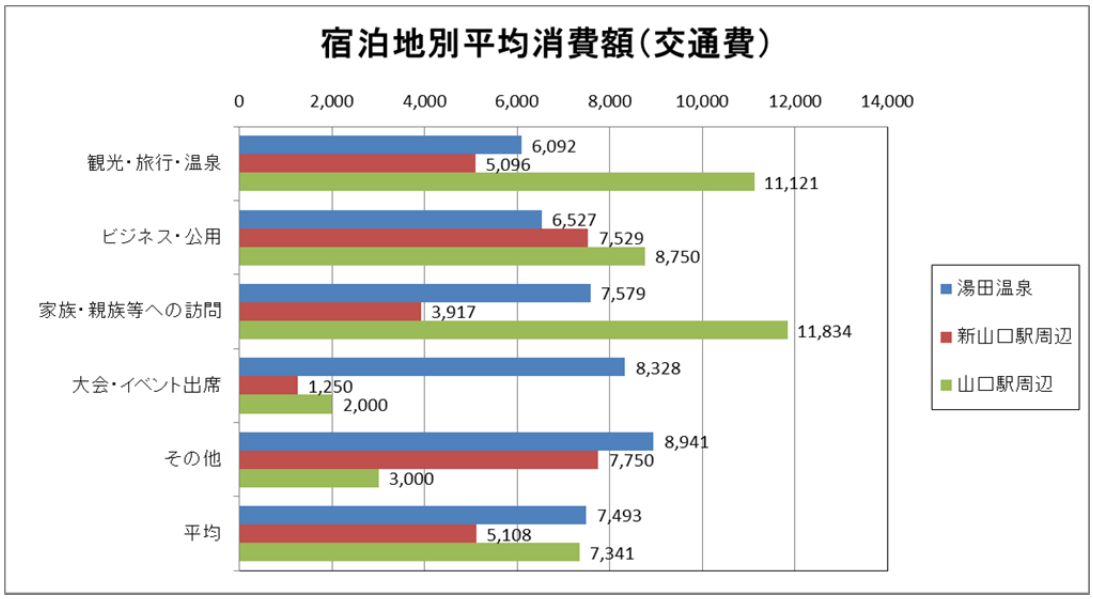
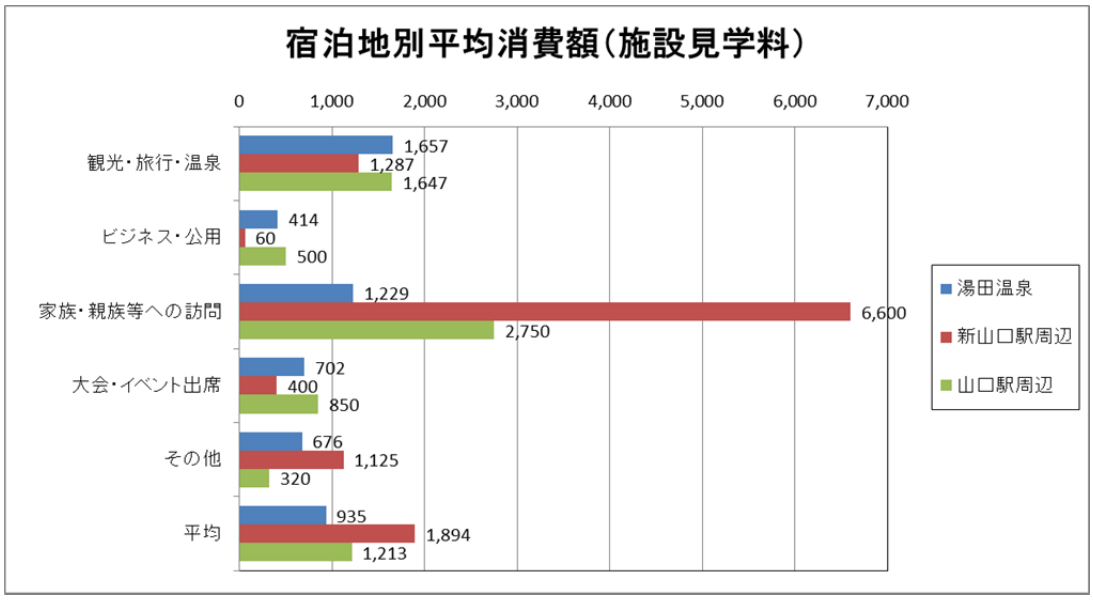


図 1-1-23　宿泊地別平均消費額（施設見学料）



（19）宿泊施設についての評価

宿泊施設に関する質問では、各項目について 5 段階評価で調査している。

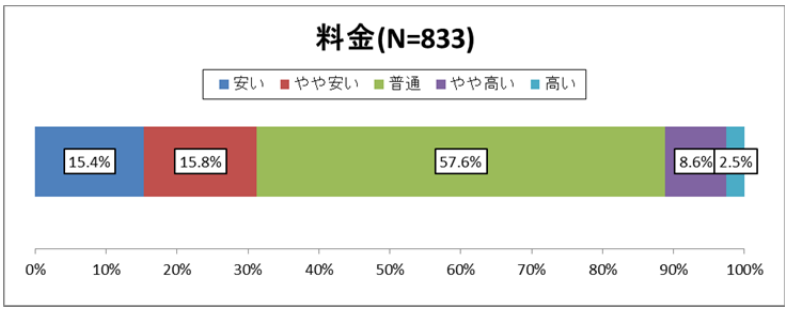
a. 料金

表 1-1-23 は、宿泊施設の料金について、5 段階評価の構成比を示したものである。料金については普通が 57.6%で最も多く、安いが 15.4%、やや安いが 15.8%であった。

表 1-1-23　料金の評価

料金の評価	回答数	%
安い	128	15.4%
やや安い	132	15.8%
普通	480	57.6%
やや高い	72	8.6%
高い	21	2.5%
回答数計	833	100.0%

図 1-1-24　料金の評価



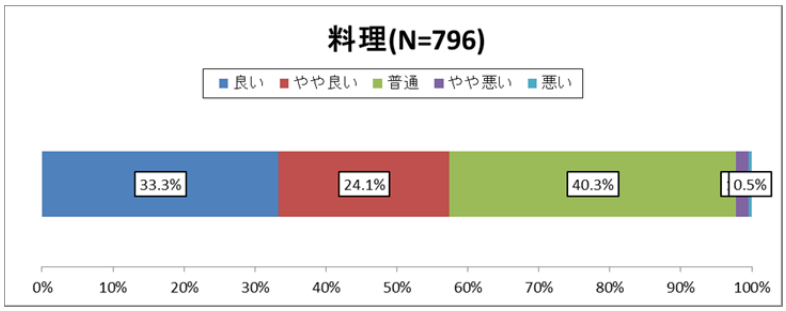
b. 料理

表 1-1-24 は、宿泊施設の料理についての評価である。普通が 40.3%と最も多く、次いで、良いが 33.3%、やや良いが 24.1%と続いており、比較的良い評価になっている。

表 1-1-24　料理の評価

料理の評価	回答数	%
良い	265	33.3%
やや良い	192	24.1%
普通	321	40.3%
やや悪い	14	1.8%
悪い	4	0.5%
回答数計	796	100.0%

図 1-1-25　料理の評価



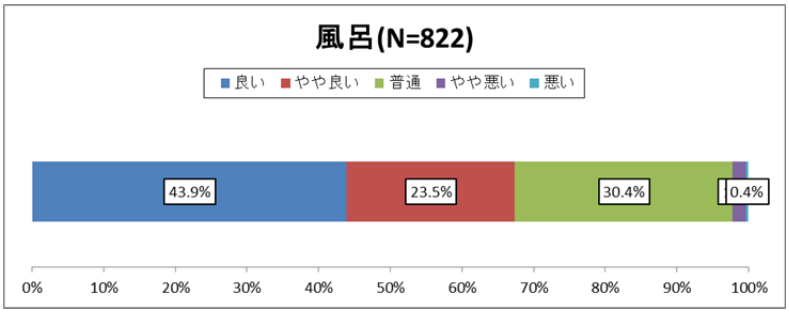
c. 風呂

表 1-1-25 は、宿泊施設の風呂についての評価である。良いが 43.9%で最も多く、普通が 30.4%、やや良いが 23.5%であった。良い、やや良いとする回答を合わせると 67.4%であり、6 割以上の人が宿泊施設の風呂に対する評価が高いことがわかる。

表 1-1-25　風呂の評価

風呂の評価	回答数	%
良い	361	43.9%
やや良い	193	23.5%
普通	250	30.4%
やや悪い	15	1.8%
悪い	3	0.4%
回答数計	822	100.0%

図 1-1-26　風呂の評価



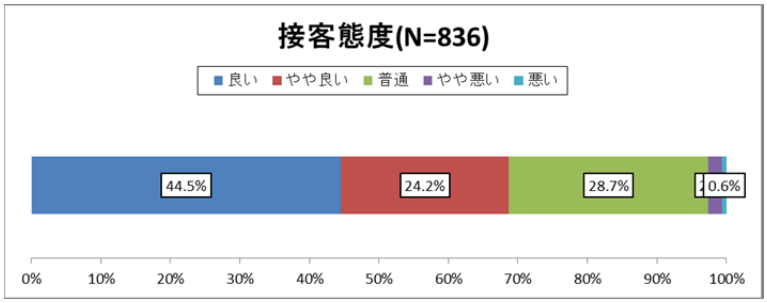
d. 接客態度

表 1-1-26 は、宿泊施設の接客態度についての評価である。良いが 44.5%で最も多く、普通が 28.7%、やや良いが 24.2%である。接客態度も風呂と同様に比較的評価が高い。

表 1-1-26　接客態度の評価

接客態度の評価	回答数	%
良い	372	44.5%
やや良い	202	24.2%
普通	240	28.7%
やや悪い	17	2.0%
悪い	5	0.6%
回答数計	836	100.0%

図 1-1-27　接客態度の評価



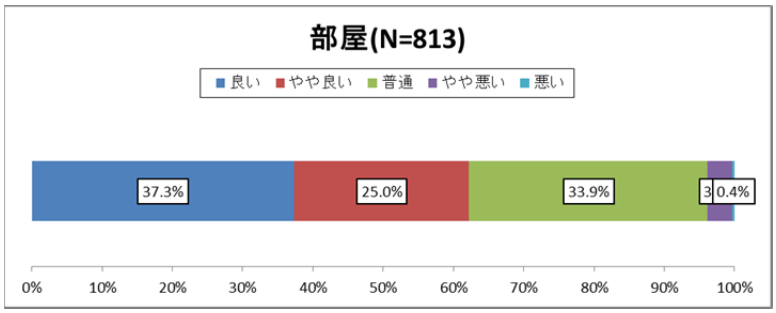
e. 部屋

表 1-1-27 は、宿泊施設の部屋についての評価である。良いが 37.3%で最も多く、普通が 33.9%、やや良いが 25.0%である。部屋については良いと評価するのは約 6 割である。

表 1-1-27　部屋の評価

部屋の評価	回答数	%
良い	303	37.3%
やや良い	203	25.0%
普通	276	33.9%
やや悪い	28	3.4%
悪い	3	0.4%
回答数計	813	100.0%

図 1-1-28　部屋の評価



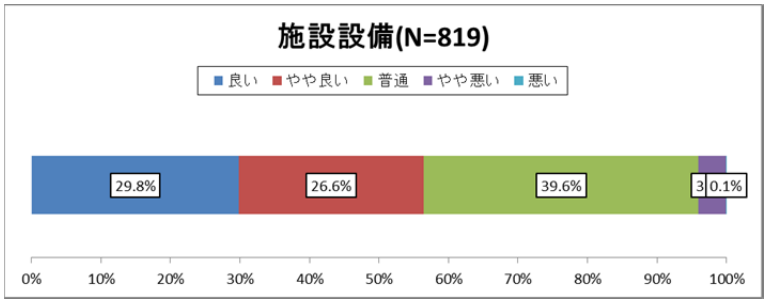
f. 施設設備

表 1-1-28 は、施設設備についての評価である。普通が 39.6%で最も多く、良いが 29.8%、やや良いが 26.6%であった。

表 1-1-28　施設設備の評価

施設設備の評価	回答数	%
良い	244	29.8%
やや良い	218	26.6%
普通	324	39.6%
やや悪い	32	3.9%
悪い	1	0.1%
回答数計	819	100.0%

図 1-1-29　施設設備の評価



（20）交通の便についての評価

ここでは、山口市における交通の便（乗り継ぎ、道路標識、観光案内板）について、5 段階で評価されたものをみる。

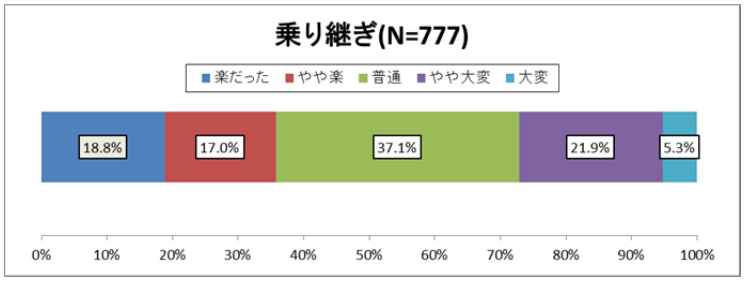
a. 乗り継ぎ

表 1-1-29 は、乗り継ぎについての評価である。普通が 37.1%で最も多く、やや大変が 21.9%で、楽だったとする 18.8%を上回っている。やや大変と大変を合わせると 27.2%で、楽とする評価よりも大変とする評価の割合が高い。

表 1-1-29　乗り継ぎの評価

乗り継ぎ	回答数	%
楽だった	146	18.8%
やや楽	132	17.0%
普通	288	37.1%
やや大変	170	21.9%
大変	41	5.3%
回答数計	777	100.0%

図 1-1-30　乗り継ぎの評価



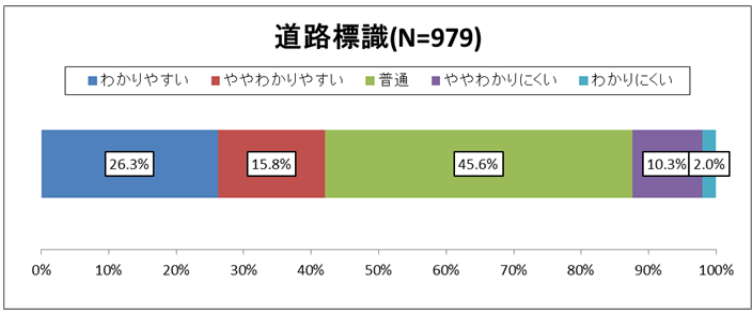
b. 道路標識

表 1-1-30 は、道路標識についての評価である。道路標識は、普通が 45.6%、わかりやすいが 26.3%、ややわかりやすいが 15.8%である。ややわかりにくいとする回答も 10.3%であった。

表 1-1-30　道路標識の評価

道路標識	回答数	%
わかりやすい	257	26.3%
ややわかりやすい	155	15.8%
普通	446	45.6%
ややわかりにくい	101	10.3%
わかりにくい	20	2.0%
回答数計	979	100.0%

図 1-1-31　道路標識の評価



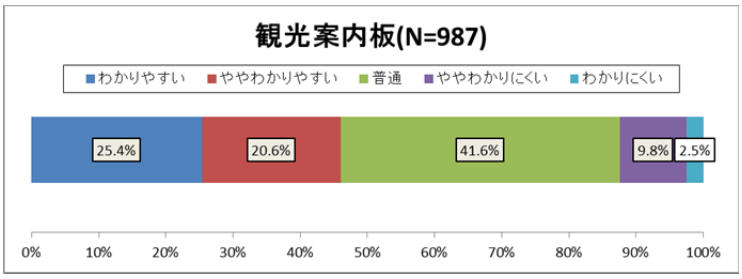
c. 観光案内板

表 1-1-31 は、観光案内板についての評価である。観光案内板は、普通が 41.6%、わかりやすいが 25.4%、ややわかりやすいが 20.6%、その他の交通の便に関する項目と比較すると、良いという評価が多くなっている。

表 1-1-31　観光案内板の評価

観光案内板	回答数	%
わかりやすい	251	25.4%
ややわかりやすい	203	20.6%
普通	411	41.6%
ややわかりにくい	97	9.8%
わかりにくい	25	2.5%
回答数計	987	100.0%

図 1-1-32　観光案内板の評価



（21）土産物についての評価

ここでは、お土産の価格と品揃えの評価について、5 段階で評価されたものをみる。

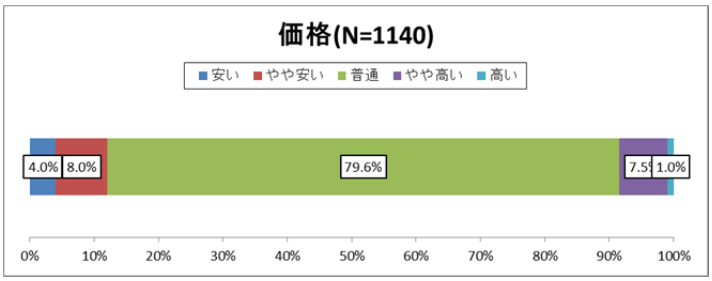
a. 土産物の価格

表 1-1-32 は、土産物の価格についての評価である。価格については普通が 79.6%、やや安いが 8.0%、やや高いが 7.5%である。普通とする評価が極めて多くなっている。

表 1-1-32　土産物の評価（価格）

土産の価格	回答数	%
安い	46	4.0%
やや安い	91	8.0%
普通	907	79.6%
やや高い	85	7.5%
高い	11	1.0%
回答数計	1,140	100.0%

図 1-1-33　土産物の評価（価格）



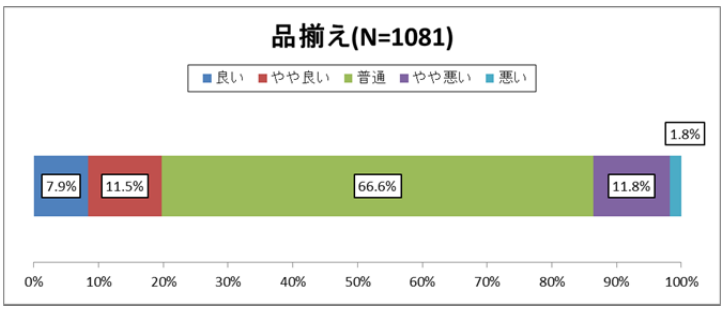
b. 土産物の品揃え

表 1-1-33 は、土産物の品揃えについての評価である。普通が 66.6%、良いが 8.3%、やや良いが 11.5%である一方、やや悪いも 11.8%であった。

表 1-1-33　土産物の評価（品揃え）

土産の品揃え	回答数	%
良い	90	8.3%
やや良い	124	11.5%
普通	720	66.6%
やや悪い	128	11.8%
悪い	19	1.8%
回答数計	1,081	100.0%

図 1-1-34　土産物の評価（品揃え）



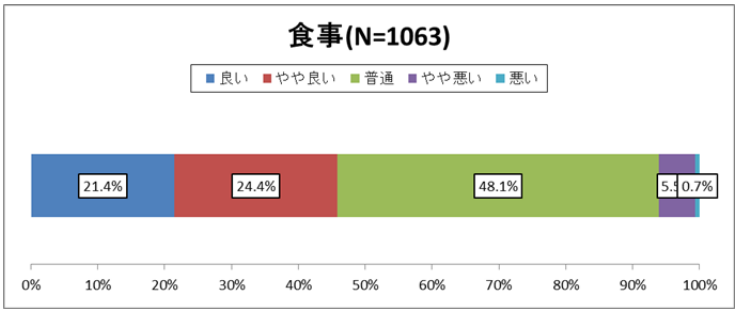
（22）食事（宿泊施設以外）についての評価

表 1-1-34 は、2014 年から新しく質問を加えた宿泊施設以外の食事についての評価である。普通が 48.1%と最も多いが、やや良いが 24.4%、良いが 21.4%で、良いとする評価が約 45%と悪いとする評価を大きく上回っている。

表 1-1-34　食事の評価

食事	回答数	%
良い	228	21.4%
やや良い	259	24.4%
普通	511	48.1%
やや悪い	58	5.5%
悪い	7	0.7%
回答数計	1,063	100.0%

図 1-1-35　食事の評価



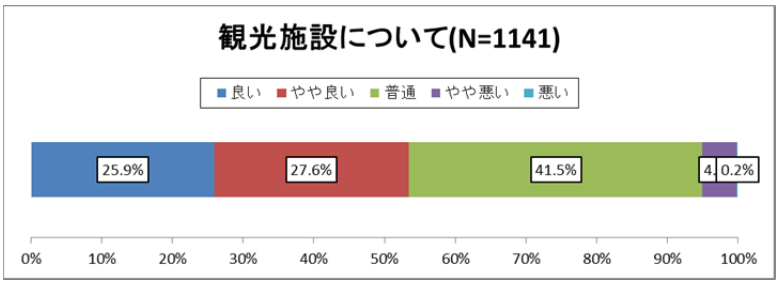
（23）観光施設についての評価

表 1-1-35 は、観光施設についての評価である。普通が 41.5%、やや良いが 27.6%、良いが 25.9%である。観光施設については約半数が良いと評価している。

表 1-1-35　観光施設の評価

観光施設の評価	回答数	%
良い	295	25.9%
やや良い	315	27.6%
普通	474	41.5%
やや悪い	55	4.8%
悪い	2	0.2%
回答数計	1,141	100.0%

図 1-1-36　観光施設の評価



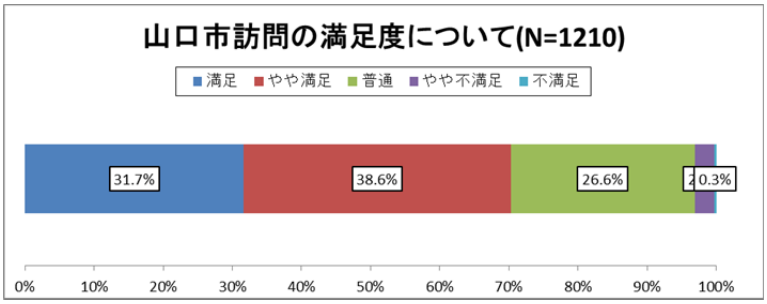
（24）山口市訪問の満足度

表 1-1-36 は、山口市訪問の満足度を 5 段階評価で示したものである。やや満足が 38.6%、満足が 31.7%で、合わせて約 70%が満足と評価している。

表 1-1-36　山口市訪問の満足度

山口市訪問の満足度	回答数	%
満足	383	31.7%
やや満足	467	38.6%
普通	322	26.6%
やや不満足	34	2.8%
不満足	4	0.3%
回答数計	1,210	100.0%

図 1-1-37　山口市訪問の満足度



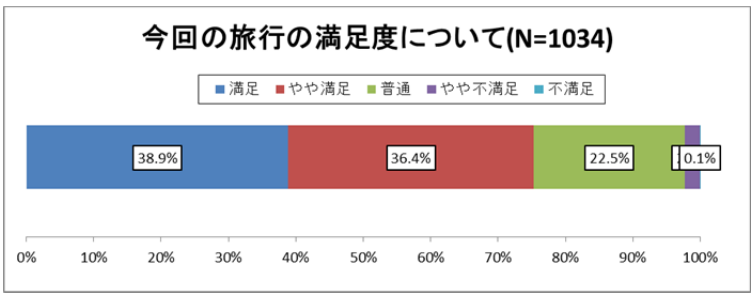
（25）今回の旅行の満足度

表 1-1-37 は、今回の旅行の満足度を示したものである。満足が 38.9%、やや満足が 36.4%、普通が 22.5%である。全体で約 75%が満足と評価している。

表 1-1-37　今回の旅行の満足度

今回の旅行の満足度	回答数	%
満足	469	38.9%
やや満足	439	36.4%
普通	271	22.5%
やや不満足	26	2.2%
不満足	1	0.1%
回答数計	1,206	100%

図 1-1-38　今回の旅行の満足度



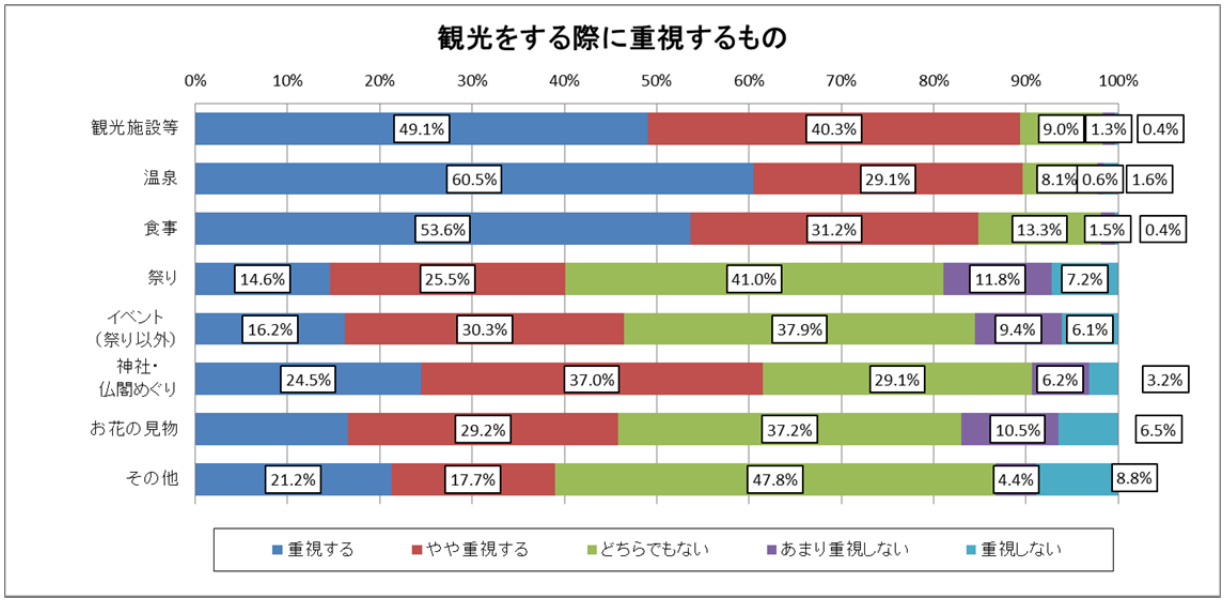
（26）山口市への旅行で重視するもの（2014 年調査票までの調査項目）

表 1-1-38 は、山口市への旅行で重視するものの各評価を示したものである。やや重視するとの回答を含めても、温泉、観光施設等、食事の 3 つを重視する割合が高く、いずれも 80%を超える割合である。一方で、祭りやお花の見物、イベントは重視しない、あまり重視しないとする回答の割合がやや高くなっている。

表 1-1-38　山口市への旅行で重視するもの

	観光施設等	温泉	食事	祭り	イベント（祭り以外）	神社・仏閣めぐり	お花の見物	その他
重視する	235	297	258	67	74	115	77	24
やや重視する	193	143	150	117	138	174	136	20
どちらでもない	43	40	64	188	173	137	173	54
あまり重視しない	6	3	7	54	43	29	49	5
重視しない	2	8	2	33	28	15	30	10
回答数計	479	491	481	459	456	470	465	113
重視する	49.1%	60.5%	53.6%	14.6%	16.2%	24.5%	16.6%	21.2%
やや重視する	40.3%	29.1%	31.2%	25.5%	30.3%	37.0%	29.2%	17.7%
どちらでもない	9.0%	8.1%	13.3%	41.0%	37.9%	29.1%	37.2%	47.8%
あまり重視しない	1.3%	0.6%	1.5%	11.8%	9.4%	6.2%	10.5%	4.4%
重視しない	0.4%	1.6%	0.4%	7.2%	6.1%	3.2%	6.5%	8.8%
回答数計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

図 1-1-39　山口市への旅行で重視するもの



（27）山口市の魅力（2014 年調査票までの調査項目）

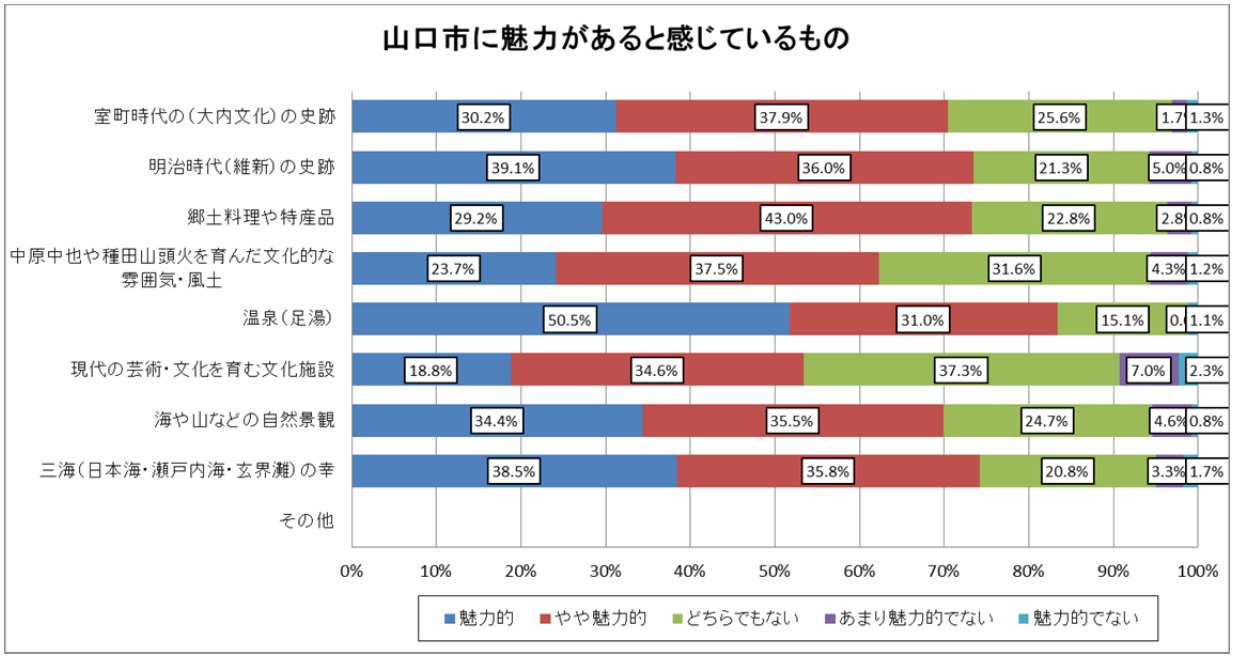
表 1-1-39 は、山口市の魅力についての項目の各評価を示したものである。魅力的とする回答の割合が高かったのが、温泉（足湯）の 50.5%であり、約半数が魅力的と回答している。次いで、明治時代（維新）の史跡が 39.1%、三海（日本海・瀬戸内海・玄海灘）の幸が 38.5%となっている。

魅力的ではない、あまり魅力的でないとする回答を足し合わせた割合が高かった項目が、現代の芸術・文化を育む文化施設で 9.3%であり、どちらでもないとする回答の割合も 37.3%と割合が高い。

表 1-1-39　山口市の魅力

	室町時代の（大内文化）の史跡	明治時代（維新）の史跡	郷土料理や特産品	中原中也や種田山頭火を育んだ文化的な雰囲気・風土	温泉（足湯）	現代の芸術・文化を育む文化施設	海や山などの自然景観	三海（日本海・瀬戸内海・玄界灘）の幸
魅力的	158	207	150	120	270	96	178	200
やや魅力的	198	191	221	190	166	177	184	186
どちらでもない	134	113	117	160	81	191	128	108
あまり魅力的でない	26	15	22	31	12	36	24	17
魅力的でない	7	4	4	6	6	12	4	9
回答数計	523	530	514	507	535	512	518	520
魅力的	30.2%	39.1%	29.2%	23.7%	50.5%	18.8%	34.4%	38.5%
やや魅力的	37.9%	36.0%	43.0%	37.5%	31.0%	34.6%	35.5%	35.8%
どちらでもない	25.6%	21.3%	22.8%	31.6%	15.1%	37.3%	24.7%	20.8%
あまり魅力的でない	5.0%	2.8%	4.3%	6.1%	2.2%	7.0%	4.6%	3.3%
魅力的でない	1.3%	0.8%	0.8%	1.2%	1.1%	2.3%	0.8%	1.7%
回答数計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

図 1-1-40　山口市の魅力



（28）山口市の魅力（2015 年調査票からの新規調査項目）

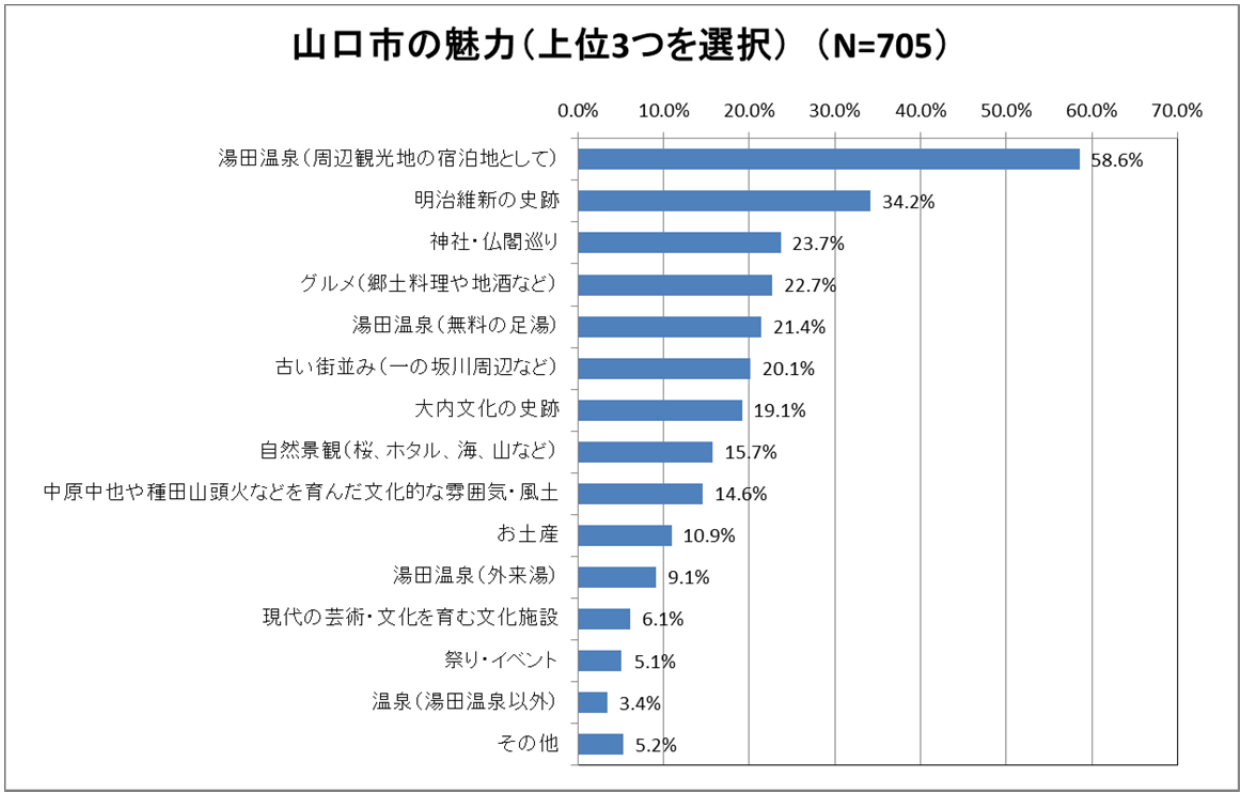
表 1-1-40 は、山口市は何が魅力的だと思うかについて、表に示す選択肢を挙げ、上位 3 つまで選択されたものを集計した結果である。

回答者数を分母として回答割合を算出したところ、最も多かったのは、湯田温泉で 58.6%であった。次に、明治維新の史跡が 34.2%、3 番目が神社・仏閣めぐりで 23.7%であった。

表 1-1-40　山口市の魅力（上位 3 つを選択）

山口市の魅力（上位3つ）	回答数	%
湯田温泉（周辺観光地の宿泊地として）	413	58.6%
明治維新の史跡	241	34.2%
神社・仏閣巡り	167	23.7%
グルメ（郷土料理や地酒など）	160	22.7%
湯田温泉（無料の足湯）	151	21.4%
古い街並み（一の坂川周辺など）	142	20.1%
大内文化の史跡	135	19.1%
自然景観（桜、ホタル、海、山など）	111	15.7%
中原中也や種田山頭火などを育んだ文化的な雰囲気・風土	103	14.6%
お土産	77	10.9%
湯田温泉（外来湯）	64	9.1%
現代の芸術・文化を育む文化施設	43	6.1%
祭り・イベント	36	5.1%
温泉（湯田温泉以外）	24	3.4%
その他	37	5.2%
回答数計	1,904	270.1%
回答者数	705	100.0%

図 1-1-41　山口市の魅力（上位 3 つを選択）



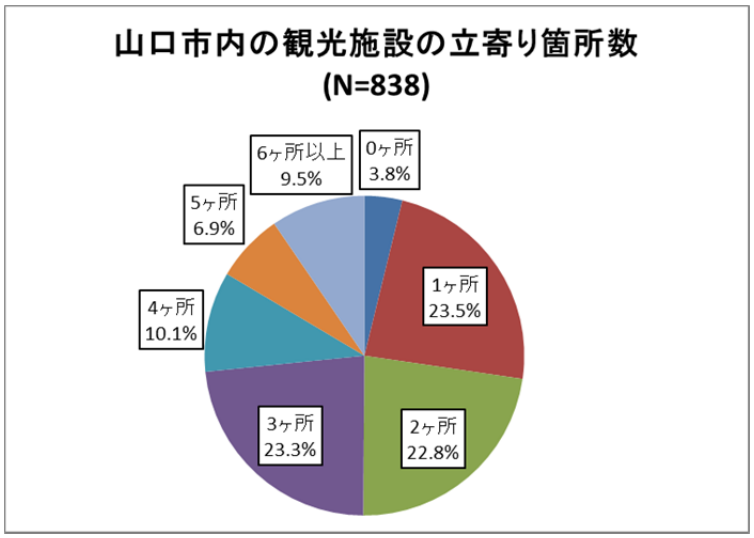
（29）今回の旅行中に山口市内で立ち寄った観光施設数

表 1-1-41 は、今回の旅行中に山口市内で立ち寄った観光施設数を示したものである。1 か所が 23.5%と最も多く、次いで、3 か所の 23.3%、2 か所の 22.8%となっている。

表 1-1-41　立ち寄った観光施設数

立ち寄りか所	回答数	%
0ヶ所	32	3.8%
1ヶ所	197	23.5%
2ヶ所	191	22.8%
3ヶ所	195	23.3%
4ヶ所	85	10.1%
5ヶ所	58	6.9%
6ヶ所以上	80	9.5%
回答数計	838	100.0%

図 1-1-42　立ち寄った観光施設数



（30）山口市内で訪れた観光施設

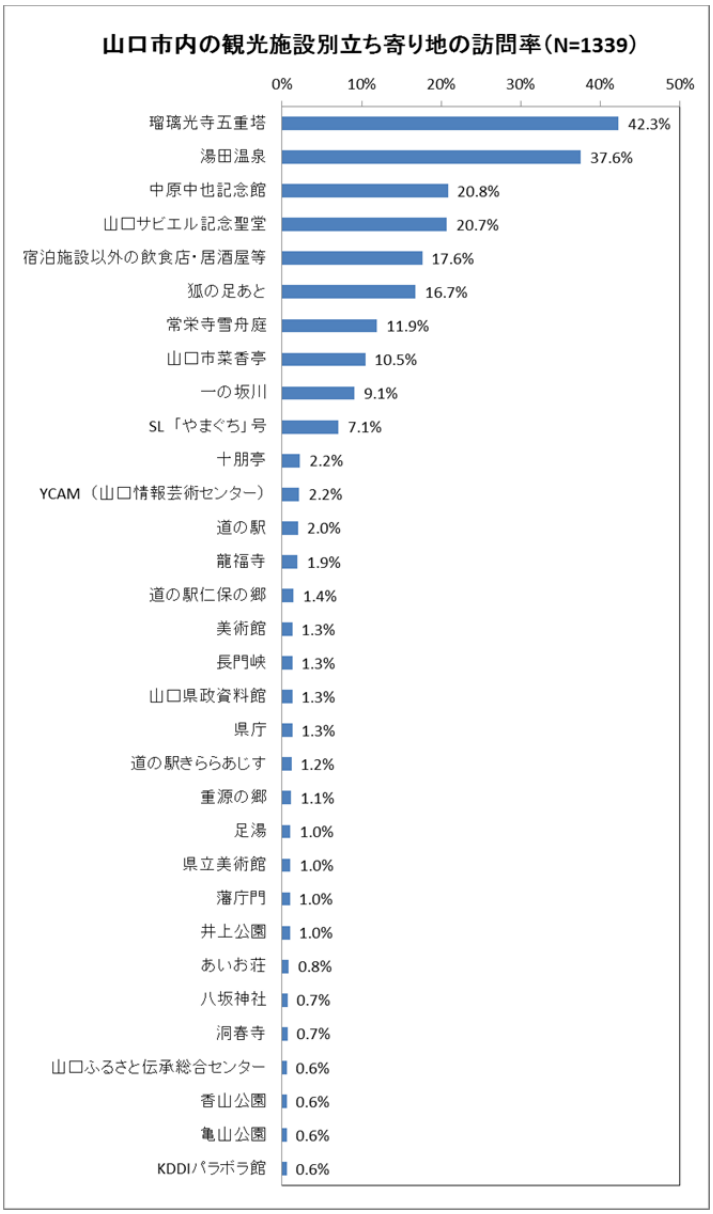
表 1-1-42 は、山口市内で訪れた観光施設のうち上位 32 位までを示したものである。最も多くの旅行者が訪れているのは瑠璃光寺五重塔の 566 人であり、訪問率は 42.3%であった。回答者のうち、半数弱が瑠璃光寺五重塔を訪問していることになる。次いで、湯田温泉が 503 人で訪問率が 37.6%、中原中也記念館が 279 人で 20.8%、山口サビエル記念聖堂が 277 人で 20.7%であった。

山口市への来訪者は、文化的な雰囲気・風土にはあまり魅力を感じていないようであるが、中原中也記念館への訪問者数は多く、関心が高いことが窺える。また、2015 年 3 月に新しく開館した湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」への訪問者も多い。中原中也記念館と狐の足あとが近いことから相乗効果があったことも推測される。なお、狐の足あとを中心とした分析については、後の節 1-3 でみていく。

表 1-1-42　訪れた観光施設(上位 32 施設)

	訪れた観光施設	訪問者数	訪問率（n=1,339）
1	瑠璃光寺五重塔	566	42.3%
2	湯田温泉	503	37.6%
3	中原中也記念館	279	20.8%
4	山口サビエル記念聖堂	277	20.7%
5	宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等	236	17.6%
6	狐の足あと	224	16.7%
7	常栄寺雪舟庭	160	11.9%
8	山口市菜香亭	140	10.5%
9	一の坂川	122	9.1%
10	SL「やまぐち」号	95	7.1%
11	十朋亭	30	2.2%
12	YCAM（山口情報芸術センター）	29	2.2%
13	道の駅	27	2.0%
14	龍福寺	26	1.9%
15	道の駅仁保の郷	19	1.4%
16	美術館	17	1.3%
17	長門峡	17	1.3%
18	山口県政資料館	17	1.3%
19	県庁	17	1.3%
20	道の駅きららあじす	16	1.2%
21	重源の郷	15	1.1%
22	足湯	14	1.0%
23	県立美術館	14	1.0%
24	藩庁門	13	1.0%
25	井上公園	13	1.0%
26	あいお荘	11	0.8%
27	八坂神社	9	0.7%
28	洞春寺	9	0.7%
29	山口ふるさと伝承総合センター	8	0.6%
30	香山公園	8	0.6%
31	亀山公園	8	0.6%
32	KDDIパラボラ館	8	0.6%

図 1-1-43　訪問率(上位 32 施設)



（31）山口市内での旅行中の情報

ここでは山口市内での旅行中に利用した情報についての回答をまとめる。

a. 利用媒体

表 1-1-43 は、山口市内での旅行中に利用した情報媒体を示したものである。複数回答であるため、回答者数を分母として利用割合を算出すると、無料パンフレットが最も多く 63.0%であった。次いで、携帯情報端末は 25.9%、市販の観光パンフレットが 25.1%であった。新規の湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」は 6.4%であった。

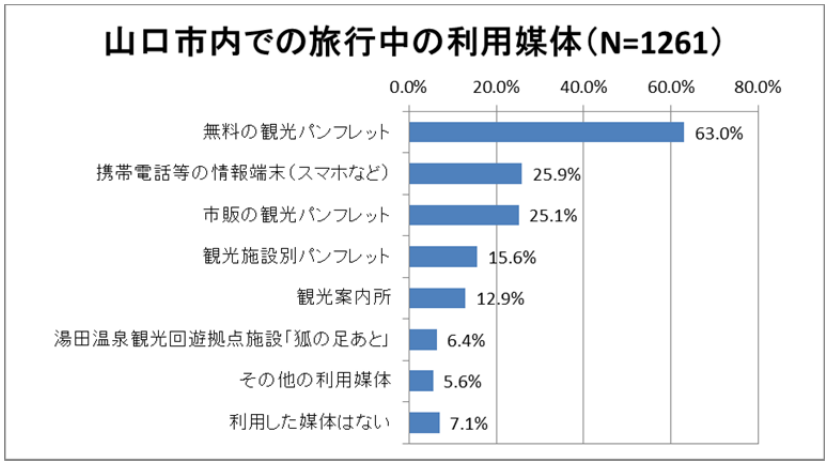
また、情報の市内、市外での入手状況をみると、市販のパンフレットは、市内・市外の両者とも同じ割合の 3.9%程度である。無料のパンフレットは、市内が 15.3%であり、市外の 5.0%と比較すると多くなっている。観光施設別のパンフレットも市内が 4.8%で、市外の 1.1%よりも多くなっている。全体では、無料のパンフレットを市内で入手する割合が高いといえる。

表 1-1-43　山口市内での旅行中の利用媒体

利用媒体	回答数	%
市販の観光パンフレット	317	25.1%
市販の観光パンフレット（市内）	49	3.9%
市販の観光パンフレット（市外）	49	3.9%
無料の観光パンフレット	795	63.0%
無料の観光パンフレット（市内）	193	15.3%
無料の観光パンフレット（市外）	63	5.0%
観光施設別パンフレット	197	15.6%
観光施設別パンフレット（市内）	60	4.8%
観光施設別パンフレット（市外）	14	1.1%
観光案内所	163	12.9%
観光案内所（市内）	37	2.9%
観光案内所（市外）	11	0.9%
その他の利用媒体	70	5.6%
その他の利用媒体（市内）	8	0.6%
その他の利用媒体（市外）	5	0.4%
携帯電話等の情報端末（スマホなど）	327	25.9%
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	81	6.4%
利用した媒体はない	89	7.1%
回答数計	2,039	161.7%
回答者数	1,261	100.0%

注）複数回答項目である。

図 1-1-44　山口市内での旅行中の利用媒体



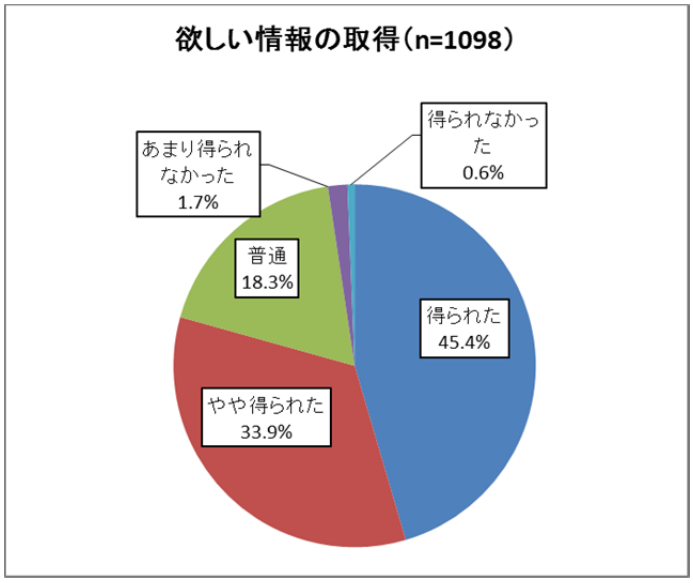
b. 欲しい情報の取得

表 1-1-44 は、山口市内を旅行中に欲しい情報が得られたかを示したものである。得られたとする回答が 45.4%、やや得られたが 33.9%であり、両者を足すと約 80%が欲しい情報が得られたとしている。

表 1-1-44　欲しい情報の取得

情報の取得	回答数	%
得られた	499	45.4%
やや得られた	372	33.9%
普通	201	18.3%
あまり得られなかった	19	1.7%
得られなかった	7	0.6%
回答数計	1,098	100.0%

図 1-1-45　欲しい情報の取得



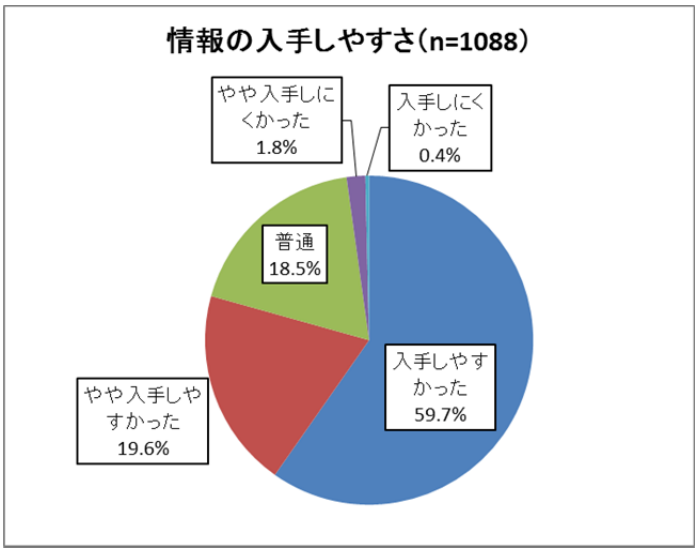
c. 情報の入手のしやすさ

表 1-1-45 は、山口市内を旅行中に欲しい情報が入手しやすかったかを示したものである。入手しやすかったが 59.7%、やや入手しやすかったが 19.6%であった。入手しにくかったは 0.4%であり、やや入手しにくかったは 1.8%であった。

表 1-1-45　情報の入手のしやすさ

入手のしやすさ	回答数	%
入手しやすかった	650	59.7%
やや入手しやすかった	213	19.6%
普通	201	18.5%
やや入手しにくかった	20	1.8%
入手しにくかった	4	0.4%
回答数計	1,088	100%

図 1-1-46　情報の入手のしやすさ



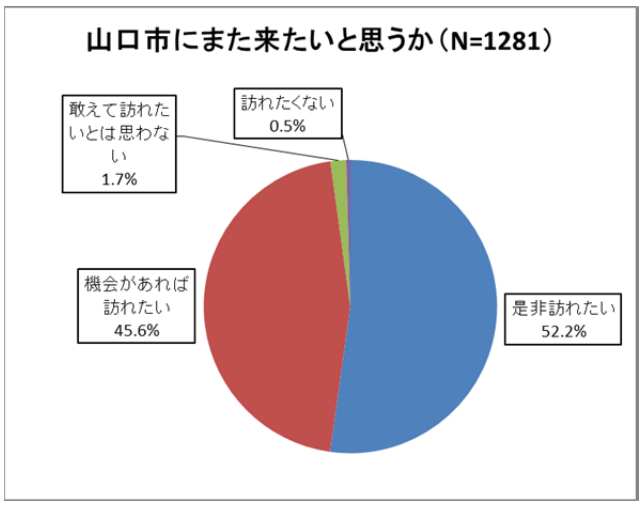
（32）山口市を再び訪れることに関する意向

表 1-1-46 は、また山口市を訪れたいと思うか尋ねた結果である。是非訪れたいが 52.2%、機会があれば訪れたいが 45.6%であった。この 2 つの回答の合計値は 97.8%であり、山口市へ再び訪れたいという意向が高い結果になった。

表 1-1-46　山口市への再訪の意向

再訪の意向	回答数	%
是非訪れたい	669	52.2%
機会があれば訪れたい	584	45.6%
敢えて訪れたいとは思わない	22	1.7%
訪れたくない	6	0.5%
回答数計	1,281	100.0%

図 1-1-47　山口市への再訪の意向



1-2　旅行者の属性によるクロス集計結果

1-2-1　性別にみた旅行者の特徴

図 1-2-1 は、男女別にみた年齢を図示したものである。男性は 60 代が 24.8%と最も多く、次いで 50 代が 23.4%、40 代は 17.4%、70 代以上が 13.5%であった。女性は 50 代が 23.9%で最も多く、次いで 60 代が 18.7%、40 代が 18.1%、30 代が 17.5%であった。20 代については、男性が 5.5%であるが、女性は 10.1%になっている。

女性の 20 代から 30 代にかけての旅行者が同年代の男性に対し割合が高く、男性の 60 代以上の旅行者が同年代の女性に対して割合が高くなっている。

図 1-2-1　男女別年齢の割合

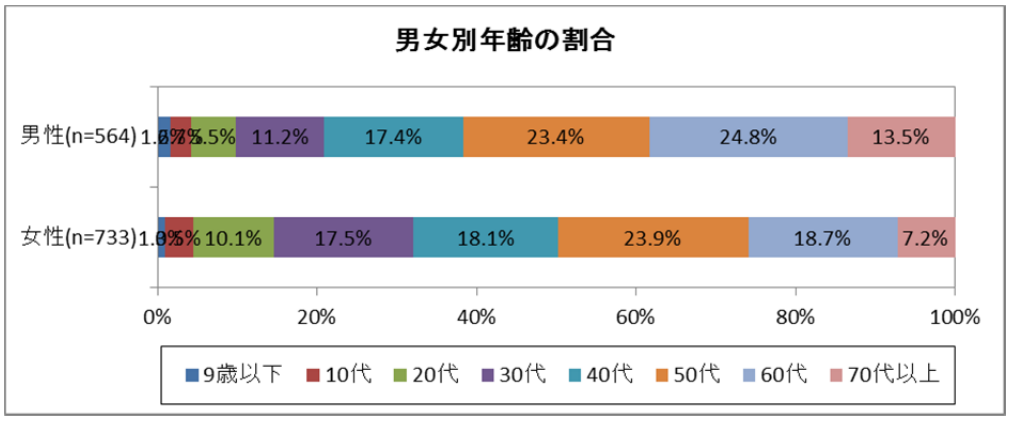


図 1-2-2 は、居住地を山口県外、山口県内に分けて男女別に表したものである。山口県内は男性が 21.2%、女性が 27.3%であるのに対して、山口県外は男性が 78.8%、女性は 72.7%で、男女ともに県外からの旅行者が 7 割以上を占めている。

図 1-2-2　男女別の居住地

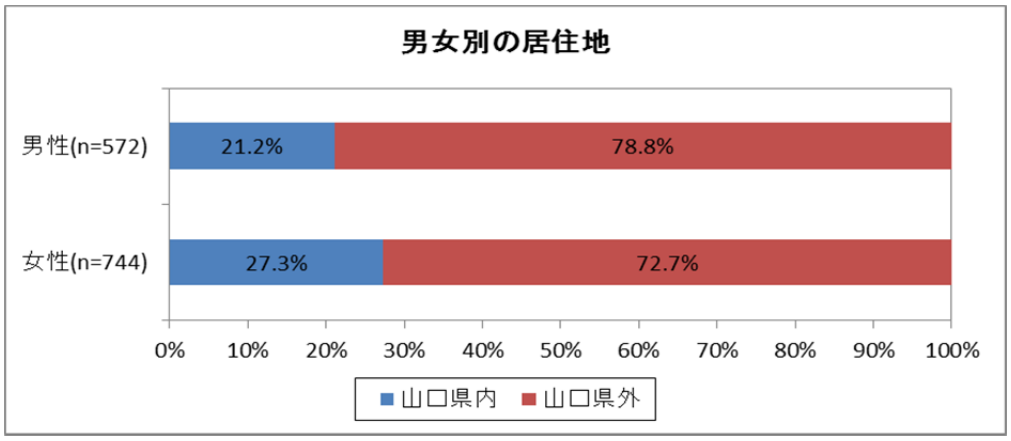


図 1-2-3 は、山口県内から訪れている旅行者のうち、山口県を東部・中部・北部・西部の 4 つの地域に区分して男女別に表にしたものである。男性では中部が 36.4%と最も多く、次いで東部が 32.2%、西部が 29.8%、北部からは 1.7%となっている。女性も中部が 36.9%と最も多く、次いで東部が 30.5%、西部が 27.6%、北部からは 4.9%である。男性、女性ともに中部が多い結果となっている。

図 1-2-3　男女別居住地（県内地域）

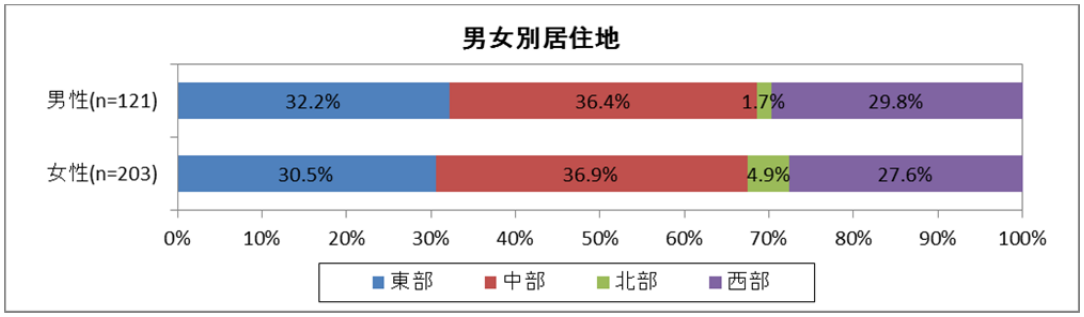


図 1-2-4 は、全国を 9 つの地域に区分して男女別に表したものである。男女とも中国地方が最も多く 42.8%と 46.4%であり、次に多いのが、男性は関東地方で 19.2%、女性も関東地方で 16.3%であった。

図 1-2-4　男女別にみた全国の地方別居住地

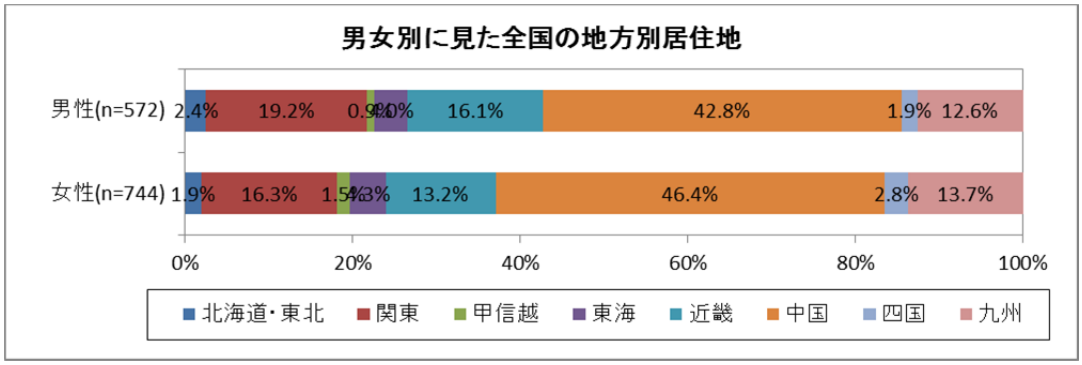


図 1-2-5 は、全旅行日程を男女別に表したものである。男女いずれも 1 泊が最も多く 37.7%と 34.6%であり、次に多いのが、日帰りで男性が 24.7%、女性が 30.2%であった。

図 1-2-5　男女別の旅行日程

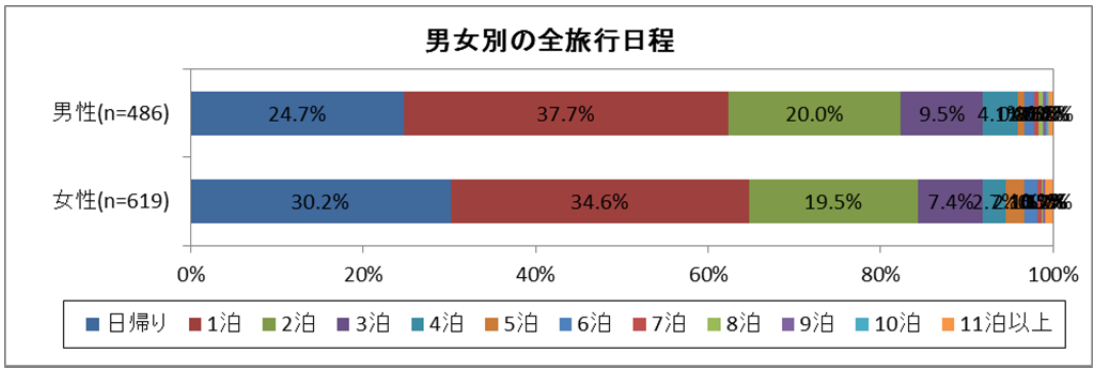


図 1-2-6 は、全旅行日程で宿泊している旅行者のうち、山口市内での旅行日程を男女別に表したものである。男女ともに 1 泊の割合が多く、男性が 68.0%であり、女性は 72.1%であった。

図 1-2-6　男女別の山口市内旅行日程

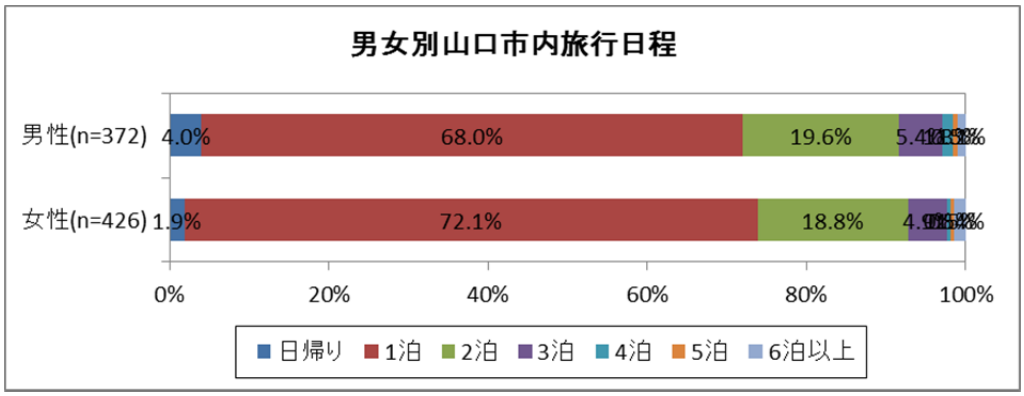
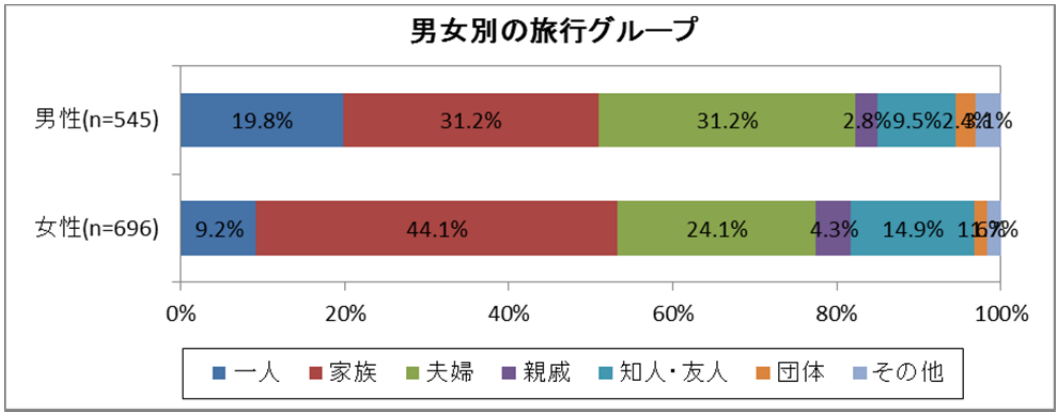


図 1-2-7 は、旅行グループを男女別に表したものである。男性は家族と夫婦が 31.2%と多く、女性は家族で訪れている割合が 44.1%と最も多く、次いで夫婦が 24.1%、知人・友人が 14.9%と多い。なお、知人・友人は男性の場合 9.5%となった。ひとりの割合は男性で 19.8%、女性では 9.2%という結果になった。

図 1-2-7　男女別の旅行グループ



1-2-2　年齢別にみた旅行者の特徴

図 1-2-8 は、年齢別の回答を居住地別に表したものである。9 歳以下を除いて山口県外が半数を超えており、20 代、40 代の年齢層に関しては約 8 割を占めている。

図 1-2-8　年齢別にみた居住地

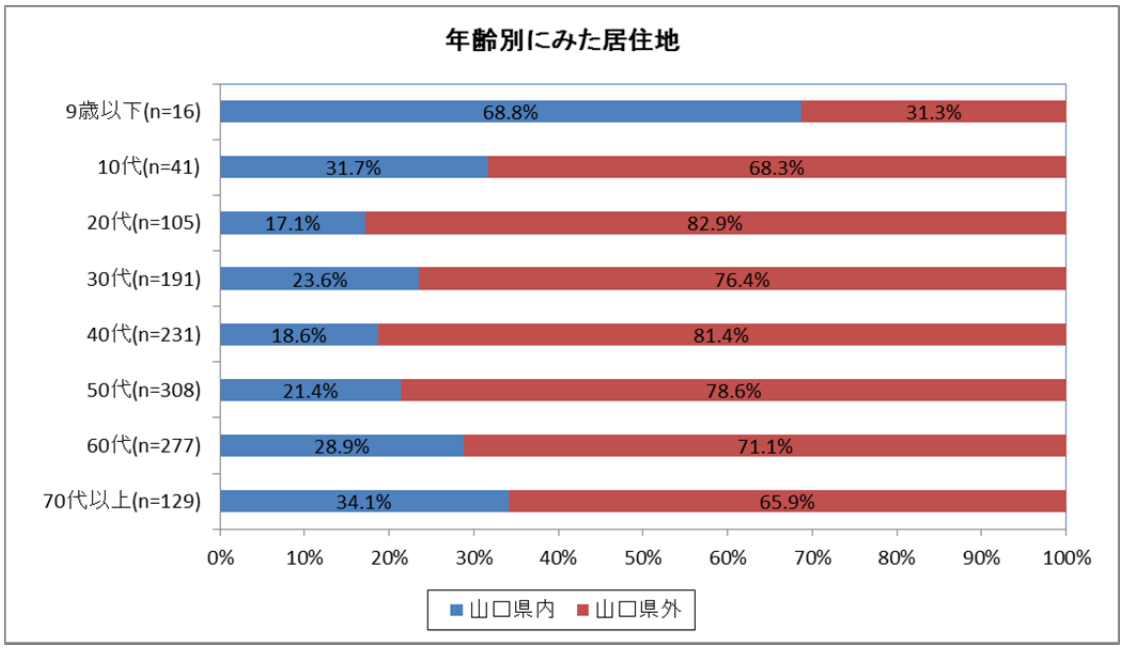


図 1-2-9 は、山口県内居住者を 4 つに区分し年齢別にみたものである。20 代、60 代では東部、30 代、70 代以上では西部、他の年齢層は中部の割合が多い結果になっている。

図 1-2-9　年齢別にみた山口県内の居住地

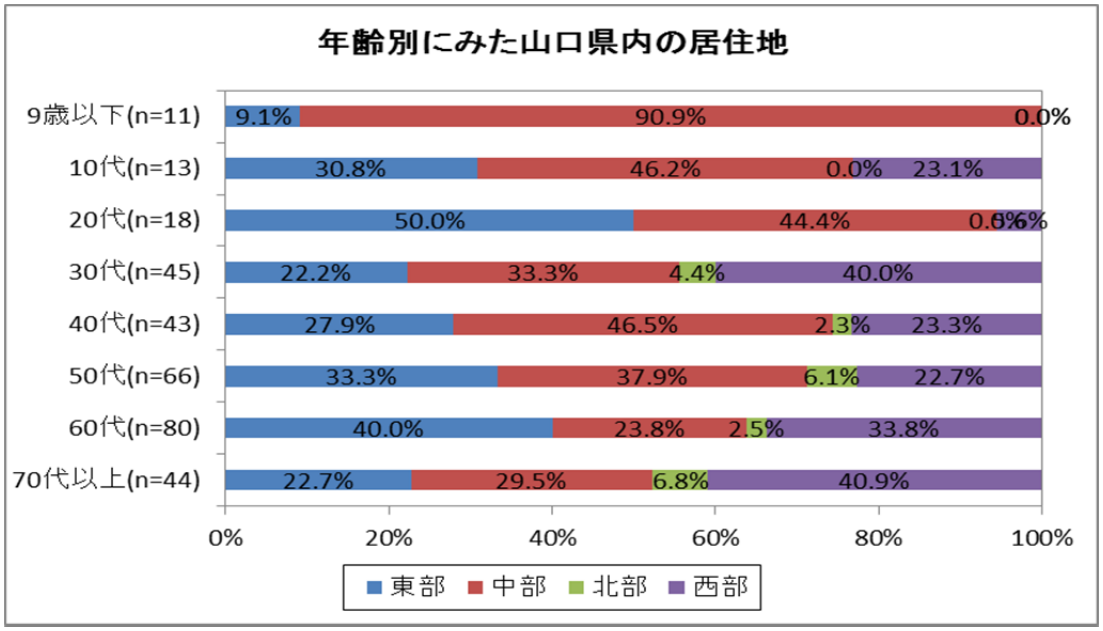


図 1-2-10 は、居住地を 8 つの地方に区分し年齢別に表したものである。どの年齢層も中国地方の割合が最も多くなっている。10 代は九州、関東地方が 17.1%、20 代は関東地方が 24.8%、九州地方が 14.3%と高く、若年層の中国、九州地方外からの訪問割合が高くなっている。

図 1-2-10　年齢別にみた居住地の地方

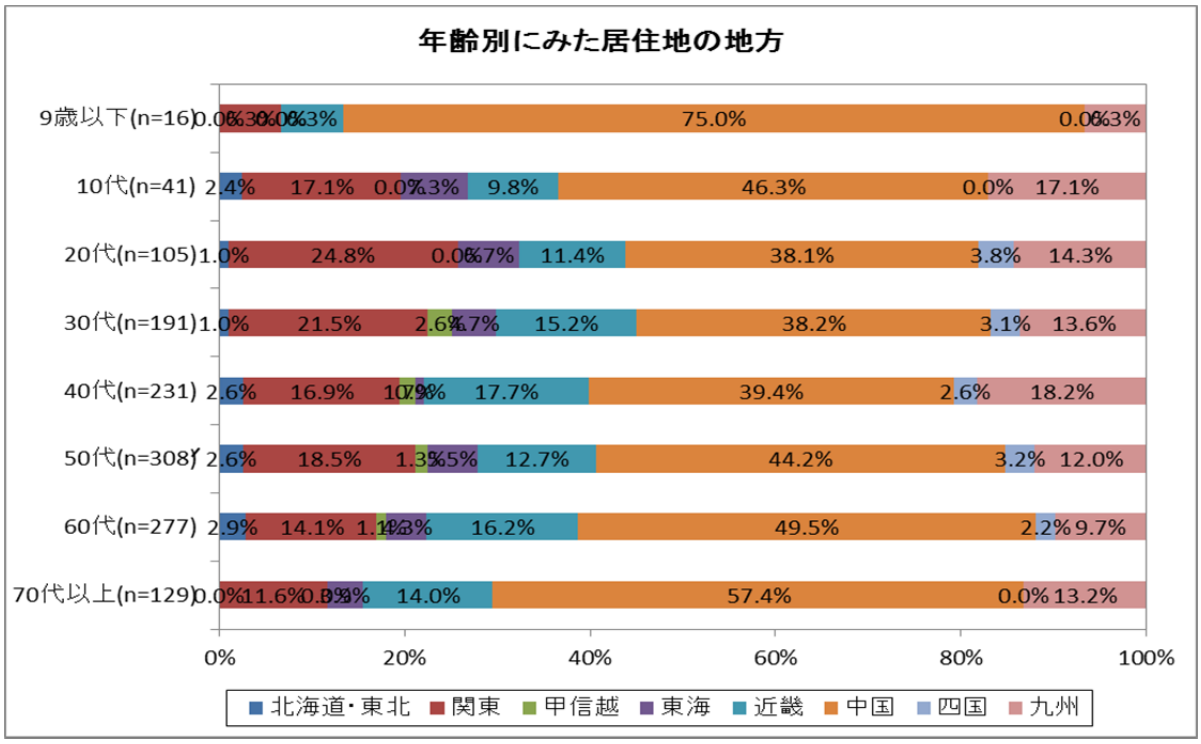


図 1-2-11 は、年齢別の旅行の全行程を表したものである。1 泊の割合がすべての年齢層で約 3 割を占めている。しかし、日帰りの割合が 10 代で 45.2%、70 代以上で 36.4%と 1 泊よりも高い結果になっている。

図 1-2-11　年齢別にみた旅行の全行程

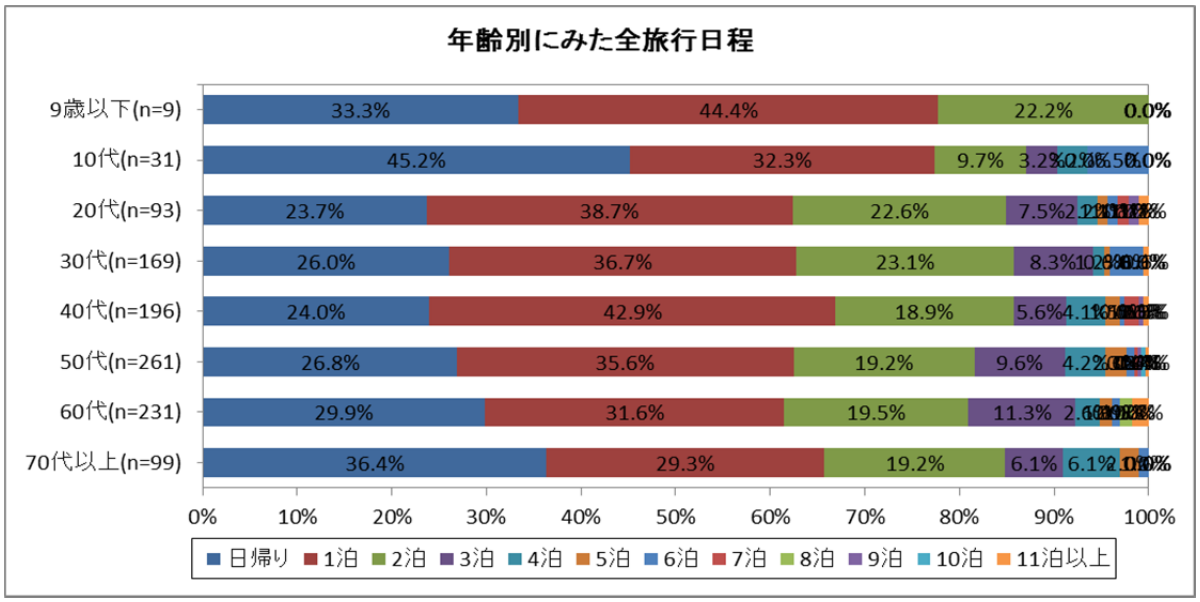


図 1-2-12 は、全旅行日程で宿泊している旅行者のうち、山口市内での旅行日程を年齢別に表したものである。すべての年齢層で 1 泊が 6 割以上を占める結果となっている。

図 1-2-12　年齢別にみた山口市内の旅行日程

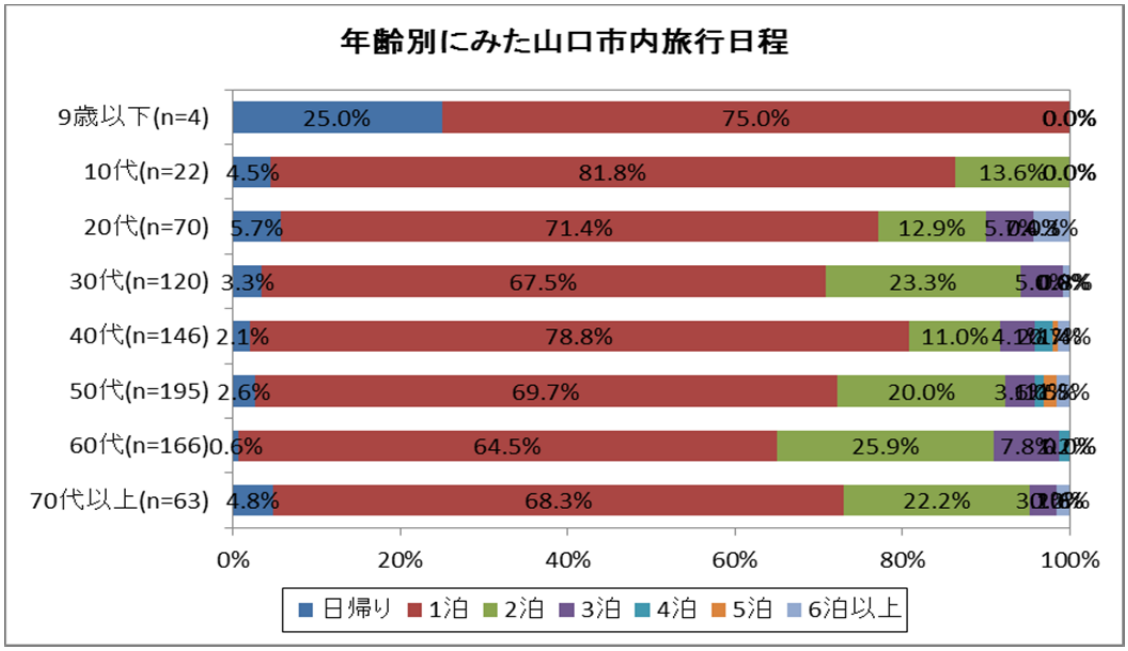
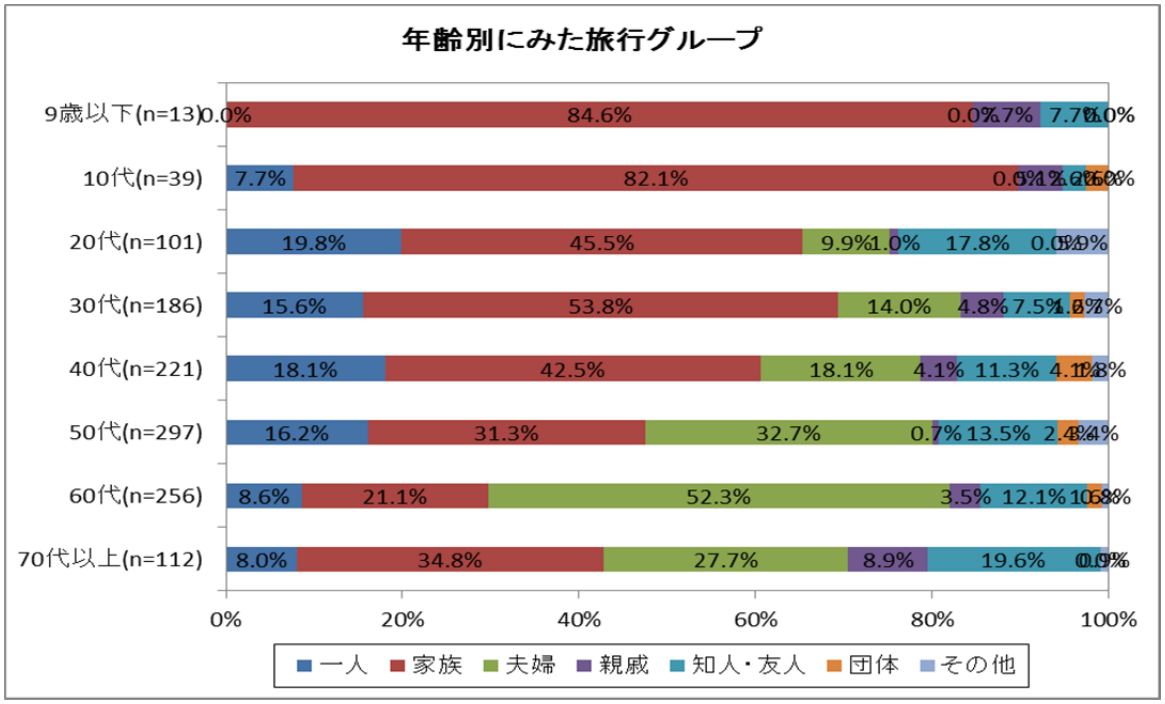


図 1-2-13 は、年齢別の旅行グループを表したものである。10 代から 30 代にかけて約 5 割が家族で訪れていることがわかる。また年齢が高くなるにつれ、夫婦で訪れる割合が高くなる傾向にある。

図 1-2-13　年齢別にみた旅行グループ



1-2-3　居住地別にみた旅行者の特徴

図 1-2-14 は、山口県内居住者と山口県外居住者を全旅行日程別に表したものである。山口県内居住者は日帰りが 74.3%と高い割合となった。山口県外居住者は 1 泊が多く 40.5%、次に 2 泊が 24.3%、日帰りが 13.7%となっている。

図 1-2-14　県内居住者と県外居住者の全旅行日程

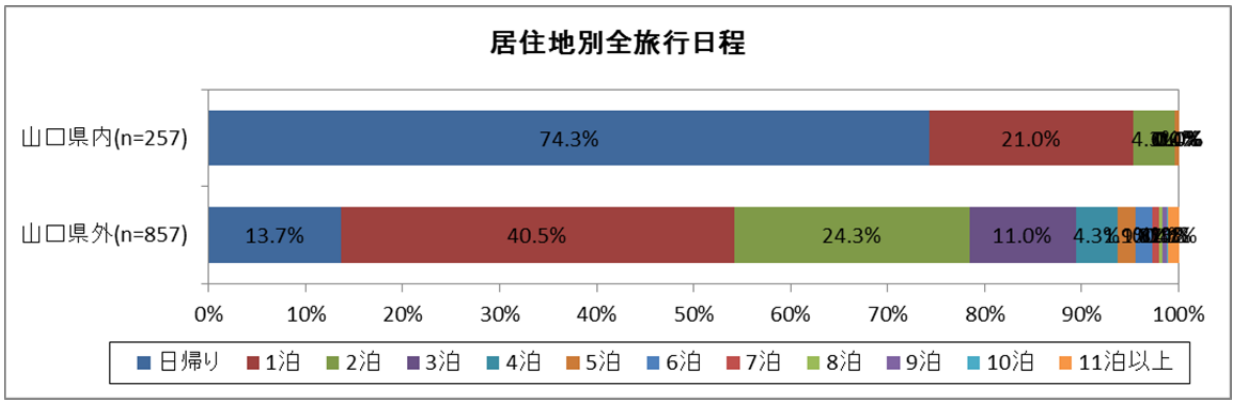


図 1-2-15 は、全旅行日程で宿泊している旅行者のうち、山口市内での旅行日程を山口県内居住者と山口県外居住者別に表したものである。山口県内居住者は 83.1%と 1 泊の割合が最も多く、山口県外居住者も 1 泊が 69.2%で最も多かった。

図 1-2-15　県内居住者と県外居住者の山口市内旅行日程

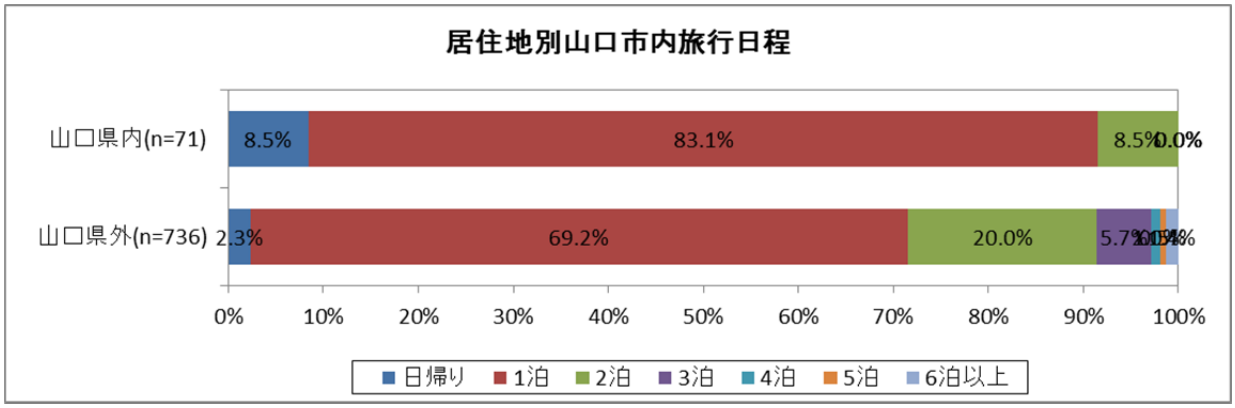


図 1-2-16 は、居住地別の旅行グループを集計したものである。山口県内居住者、山口県外居住者どちらも家族の割合が最も多く、それぞれ 46.0%と 35.9%であり、次いで夫婦の割合がそれぞれ 23.8%と 28.4%となっている。

図 1-2-16　居住地別にみた旅行グループ

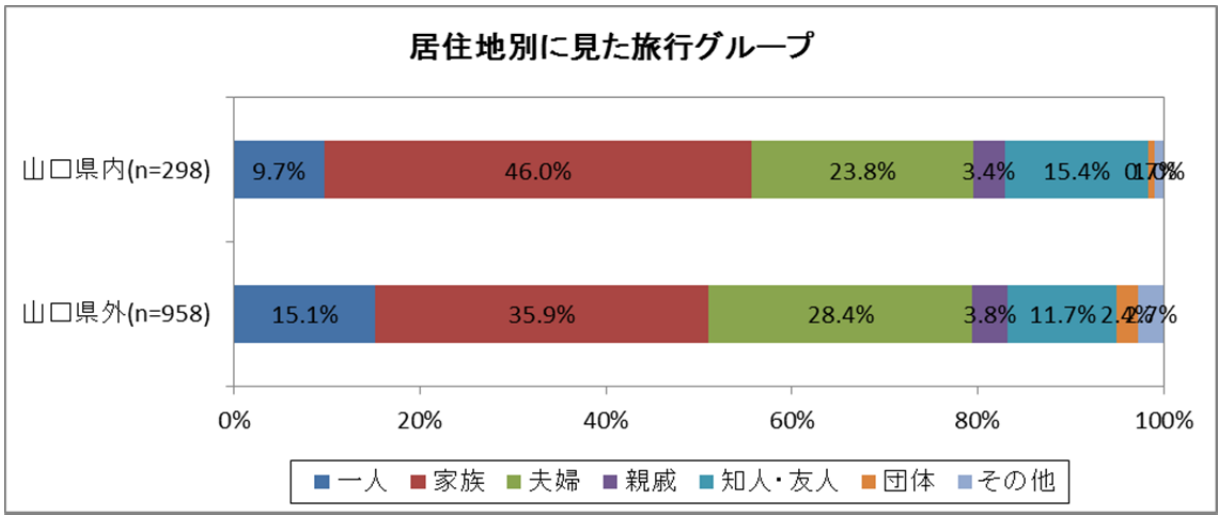


図 1-2-17 は、山口県内居住者を旅行の行程別に表したものである。どの地域においても日帰りが半数以上を占めている。中部、西部の日帰りが 7 割を超えている。

図 1-2-17　山口県内地区別にみた旅行の全行程

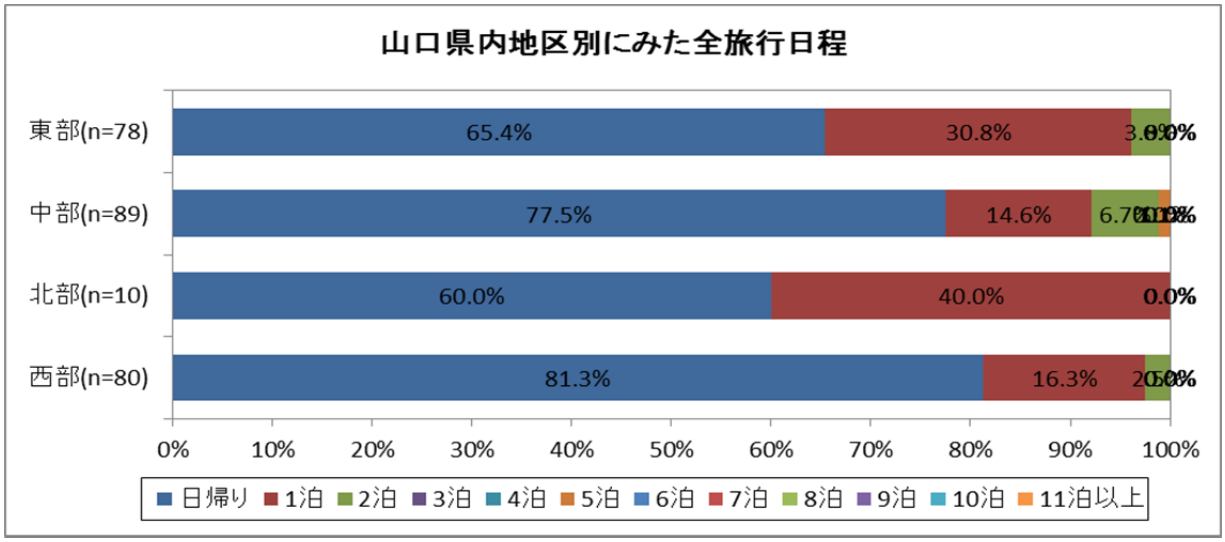


図 1-2-18 は、山口県内居住者で全旅行日程で宿泊している旅行者のうち、山口市内での旅行日程を居住地区別に表したものである。東部を除いて回答者数そのものが少ないことに注意が必要であるが、どの地区も 1 泊の割合が 7 割以上と高く、北部では 100%であった。

図 1-2-18　山口県内地区別にみた山口市内の旅行日程

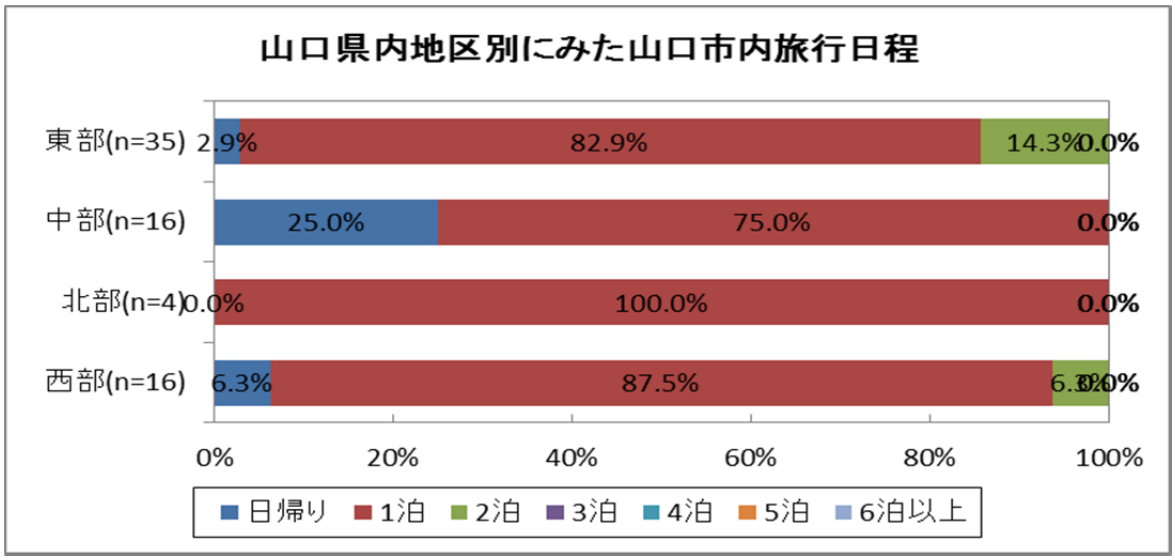


図 1-2-19 は、山口県内居住者を旅行グループ別に集計したものである。すべての地区で家族での訪問の割合が約 3 割を占めている。北部では夫婦の割合が半数を占め最も多い結果になった。

図 1-2-19　山口県内の居住地別にみた旅行グループ

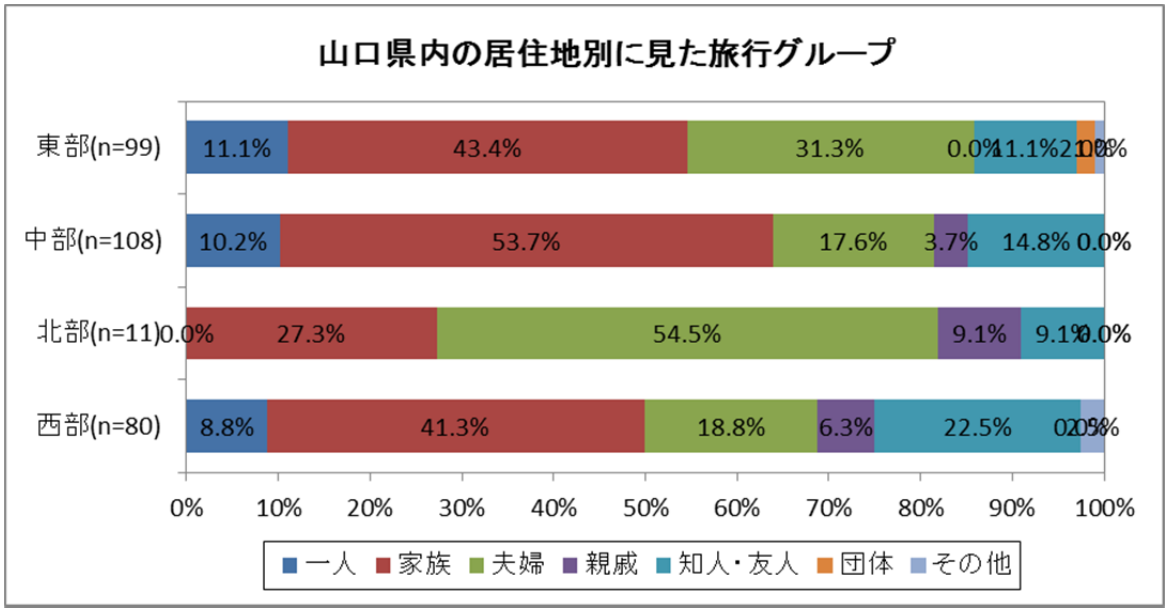


図 1-2-20 は、地方別にみた全旅行日程を表したものである。中国は日帰りが 51.0%と多かったが、四国、九州では 1 泊が約 50%を占める。近畿、東海、甲信越、関東、北海道・東北と山口から離れている地域は 1 泊から 3 泊の割合が多い結果となった。

図 1-2-20　地方別にみた全旅行日程

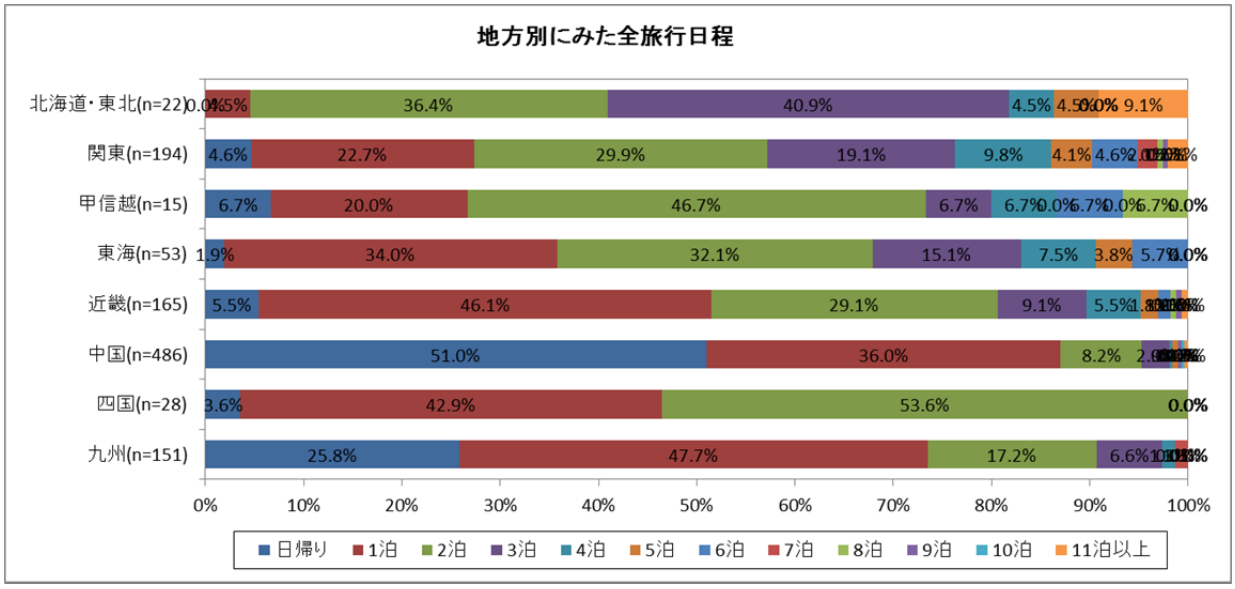


図 1-2-21 は、全旅行日程で宿泊している旅行者のうち、山口市内での旅行日程を地方別に表したものである。北海道・東北を除く地方で 1 泊の割合が 50%を超えている。さらに 1 泊と 2 泊で約 8 割を占めている。東海と近畿、中国、九州では 1 泊の割合が 7 割を超えている。北海道・東北と東海、四国で 2 泊の割合が高くなっている。

図 1-2-21　地方別にみた山口市内の旅行日程

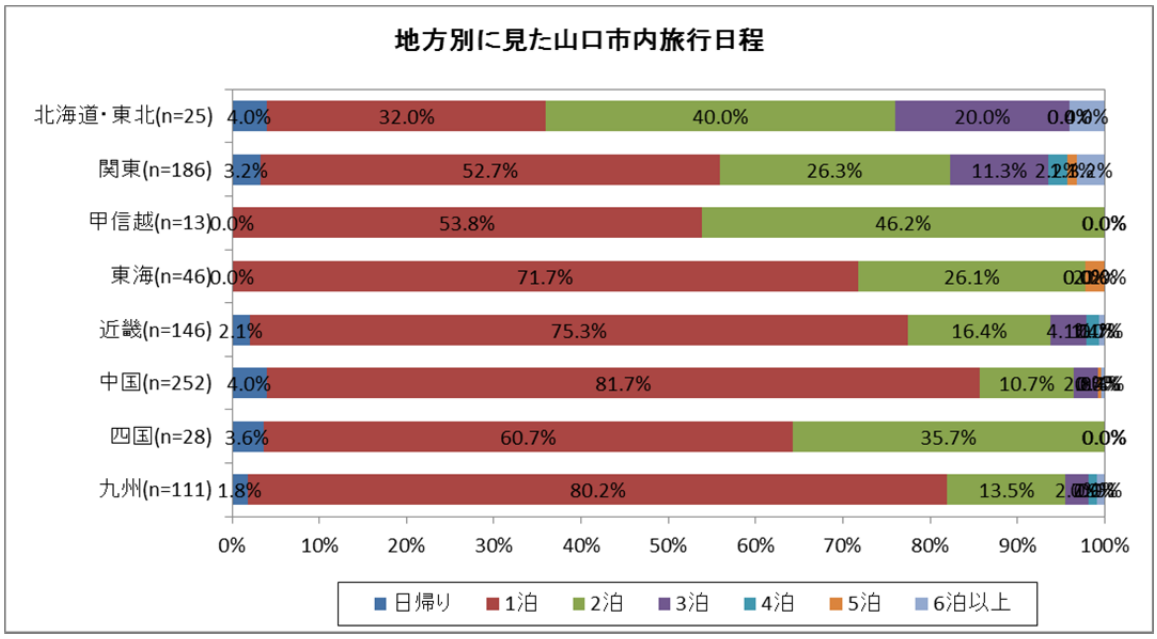
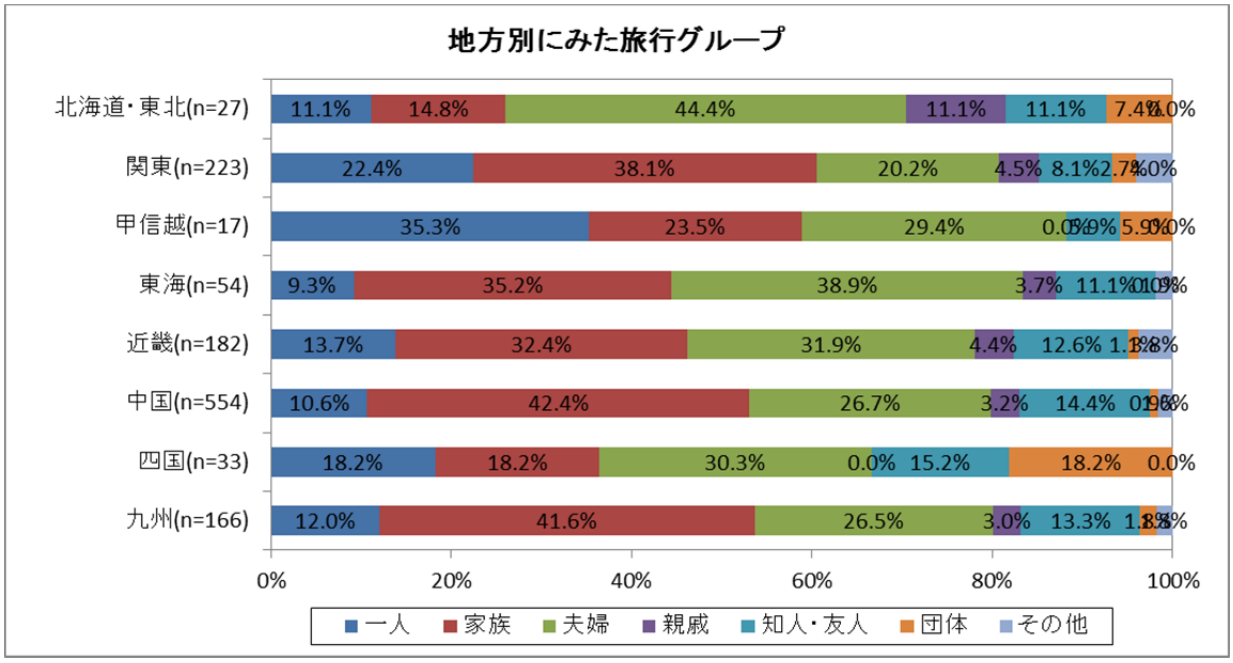


図 1-2-22 は、地方別にみた旅行グループを表したものである。家族の割合が多かったのは、中国が 42.4%、九州が 41.6%、関東が 38.1%であった。北海道・東北、甲信越、東海、四国は夫婦が多くなっている。

図 1-2-22　地方別にみた旅行グループ



1-2-4　旅行グループ別にみた旅行者の特徴

図 1-2-23 は、旅行グループ別にみた全旅行日程を表したものである。回答数の多かった家族では日帰りが 31.2%、1 泊が 38.9%と 3 割以上を占めている。それに次ぐ回答数の夫婦では、1 泊が 36.6%と 3 割以上で、日帰りが 23.1%となった。団体のみが 1 泊で 41.7%と 4 割以上の結果となった。

図 1-2-23　旅行グループ別にみた全旅行日程

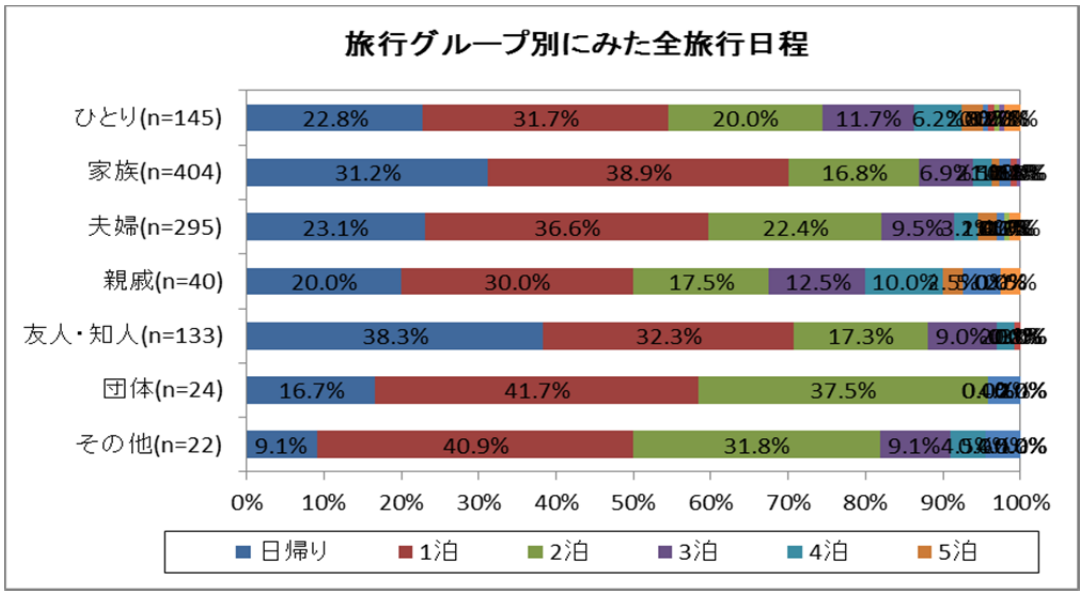
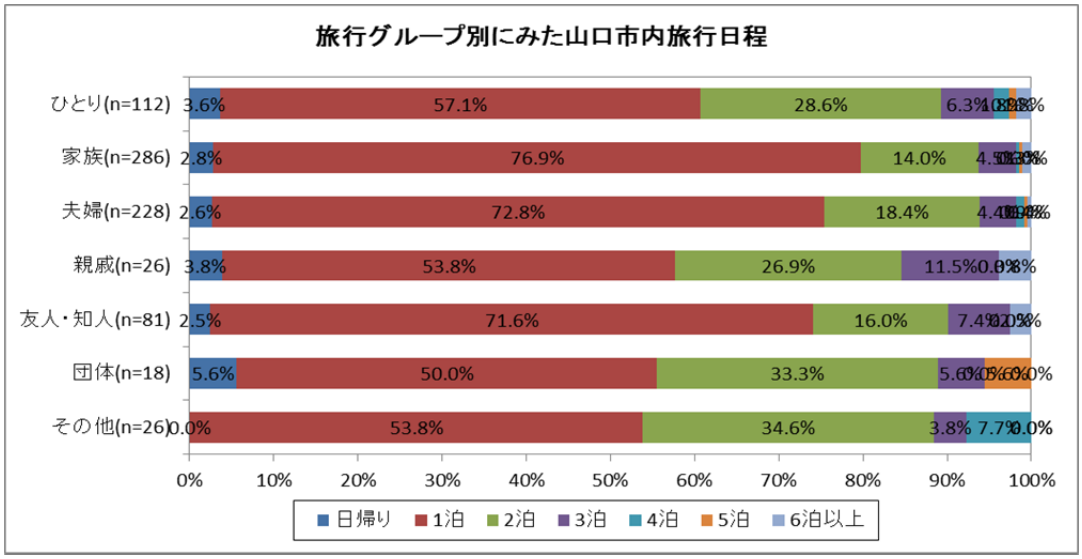


図 1-2-24 は、全旅行日程で宿泊している旅行者のうち、山口市内での旅行日程を旅行グループ別に表したものである。すべてのグループで 1 泊が最も高い割合を占め、なかでも家族、夫婦、友人・知人は 7 割を上回る結果となった。

図 1-2-24　旅行グループ別にみた山口市内旅行日程



1-2-5　山口市外の訪問地区

(1) 山口市外の訪問地区

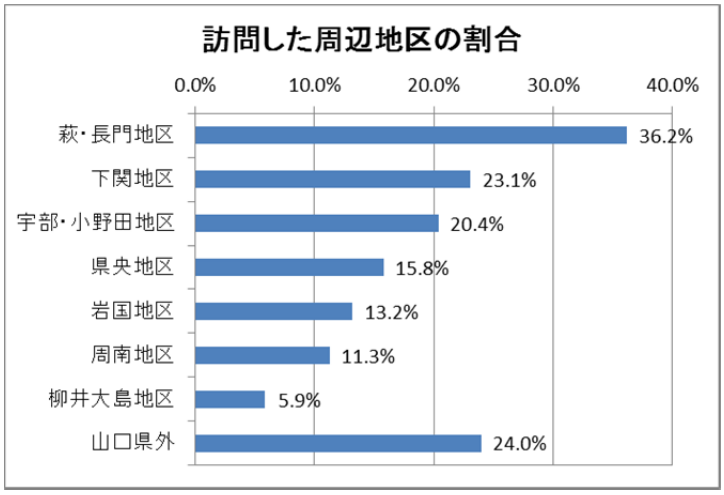
表 1-2-1 は、山口市外の地区への訪問者を示したものである。山口市に訪れる際、その他に訪問した周辺地区は、萩・長門地区が 36.2%と最も多い。次いで下関地区が 23.1%、宇部・小野田地区が 20.4%となっている。山口市を訪問する旅行者は山口県内の地域だけを周遊するのではなく、山口県外地域も 24.0%が訪れている。

表 1-2-1　訪問地区

	回答数	割合
岩国地区	152	13.2%
柳井大島地区	68	5.9%
周南地区	130	11.3%
県央地区	183	15.8%
萩・長門地区	418	36.2%
下関地区	267	23.1%
宇部・小野田地区	236	20.4%
山口県外	277	24.0%
合計	1,731	149.9%
回答者数	1,155	100.0%

注）複数回答である。

図 1-2-25　訪問地区の割合



(2) 山口市外の地区を訪問している訪問者の属性

表 1-2-2 は、山口市外の地区を訪問している訪問者を性別に表したものである。山口市と他の地区に訪れている観光客は県央地区を除きすべて女性の比率が多くなっている。周辺地として最も多く訪問している萩・長門地区も同様に女性が多い。

表 1-2-2　性別の訪問地区

	男性	女性	合計
岩国地区	77	72	149
柳井大島地区	44	24	68
周南地区	71	58	129
県央地区	83	98	181
萩・長門地区	208	209	417
下関地区	120	146	266
宇部・小野田地区	104	132	236
山口県外	125	149	274
合計	832	888	1,720
回答者数	763	572	1,335

注）複数回答である。

図 1-2-26　性別の訪問地区

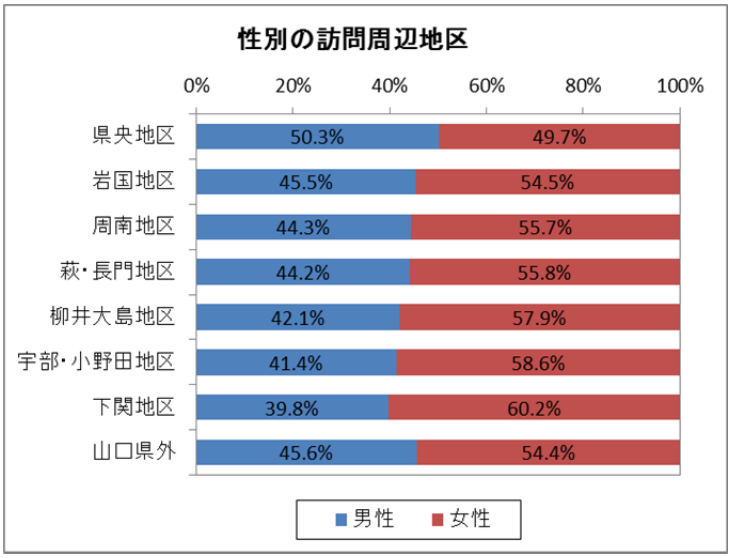


表 1-2-3 は、山口市外の地区を訪問した訪問者の年齢構成を示したものである。他の地区を訪問した年齢は、30 代～60 代が多い結果となった。他の地区別では山口市とともに周遊する回答数が多い萩・長門地区は 60 代が多く 24.8%である。また、下関地区は 50 代が 22.9%、60 代が 20.7%、30 代が 17.3%である。

表 1-2-3　山口市外の地区に訪問した訪問者の年齢構成（複数回答）

	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
岩国地区	2	2	11	24	28	35	31	14	147
柳井大島地区	2	0	4	10	11	17	13	11	68
周南地区	3	3	11	17	23	27	35	8	127
県央地区	2	2	11	31	34	45	36	19	180
萩・長門地区	5	7	21	70	71	86	102	49	411
下関地区	4	8	28	46	43	61	55	21	266
宇部・小野田地区	6	9	21	44	34	63	39	16	232
山口県外	3	6	21	52	46	63	58	19	268
合計	27	37	128	294	290	397	369	157	1,699

注）複数回答である。

図 1-2-27　山口市外の地区に訪問した訪問者の年齢構成

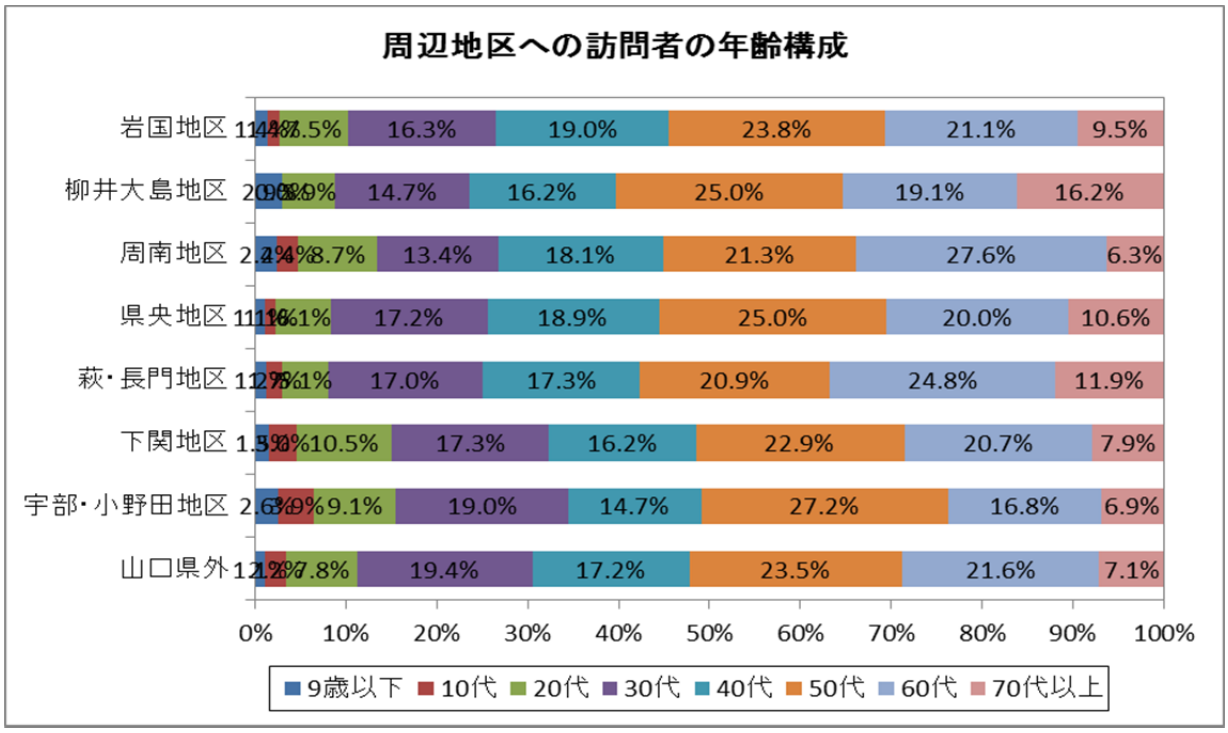


表 1-2-4 は、山口市外の地区への訪問者の居住地を示したものである。県外客が訪問している地区で最も多かったのが下関地区で 87.6%、岩国地区が 87.4%であり、山口県外も 93.1%と山口県内外の地域で周遊していることがわかる。

また、県内居住者においては、県央地区への訪問が 30.6%と最も多い。次いで、周南地区が 27.9%、柳井大島地区が 25.4%、宇部・小野田地区が 19.9%と続いている。

表 1-2-4　山口市外の地区への訪問者の居住地

	山口県内	山口県外	合計
岩国地区	19	132	151
柳井大島地区	17	50	67
周南地区	36	93	129
県央地区	56	127	183
萩・長門地区	64	352	416
下関地区	33	234	267
宇部・小野田地区	47	189	236
山口県外	19	258	277
合計	291	1,435	1,726

注）複数回答である。

図 1-2-28　山口市外地区訪問者の居住地

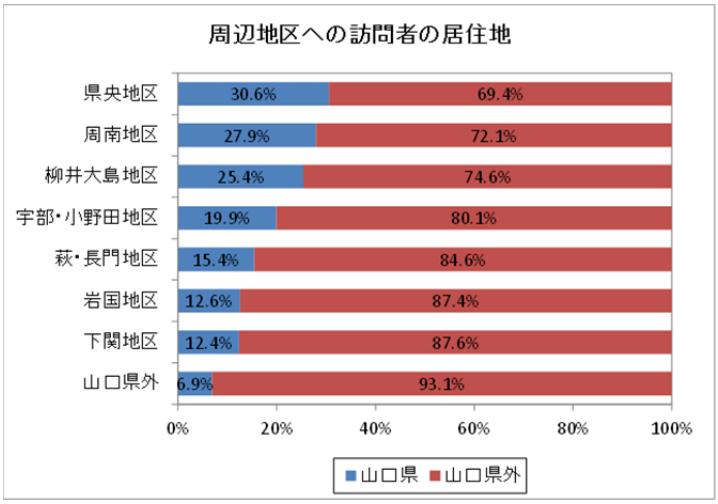


表 1-2-5 は、山口市外の地区を訪問した訪問者の全旅行日程を示したものである。山口市外の地区を訪問する訪問者のうち、日帰りの比率が高いのは柳井大島地区が 28.0%であり、周南地区への訪問が 26.7%であった。宿泊した訪問者の割合が多いのは 1 泊と 2 泊である。県央地区への訪問者で 1 泊する割合は 43.1%であった。

表 1-2-5　山口市外の地区を訪問した訪問者の全旅行日程

	日帰り	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11泊以上	合計
岩国地区	16	48	26	18	6	4	2	1	1	1	0	3	126
柳井大島地区	14	15	10	2	4	2	0	1	0	1	0	1	50
周南地区	28	41	14	5	7	2	3	1	0	1	0	3	105
県央地区	38	66	27	4	4	4	3	4	0	0	0	3	153
萩・長門地区	60	93	109	44	23	9	5	2	3	2	1	6	357
下関地区	39	58	61	31	13	5	5	1	2	2	0	5	222
宇部・小野田地区	42	60	46	26	12	6	2	1	2	0	1	4	202
山口県外	21	76	69	34	16	5	8	1	1	2	0	3	236
合計	258	457	362	164	85	37	28	12	9	9	2	28	1,451

注）複数回答である。

図 1-2-29　山口市外の地区を訪問した訪問者の全旅行日程

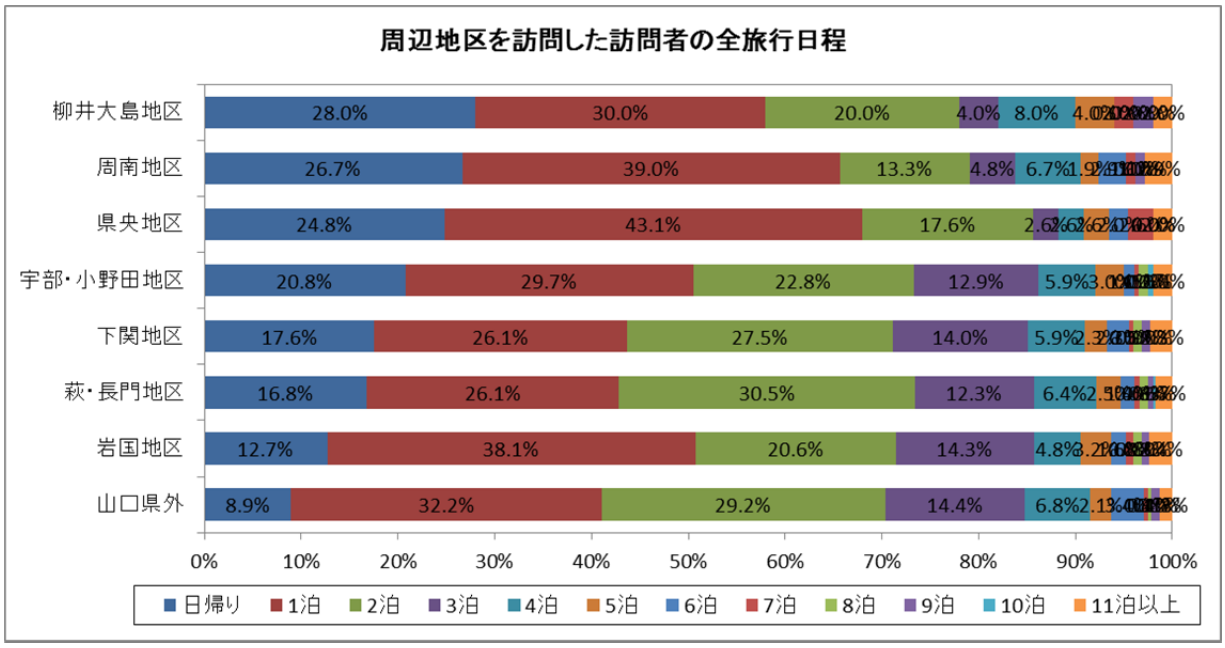


表 1-2-6 は、全旅行日程で宿泊している旅行者のうち、山口市外の地区を訪問した訪問者の山口市内での旅行日程を表したものである。山口市内に宿泊する訪問者のうち割合が多いのは 1 泊で、岩国地区が 73.0%であり、県央地区が 68.7%であった。これら以外の地区を周遊する訪問者も山口市内で 1 泊する割合は 50%を超えている。

表 1-2-6　山口市外の地区を訪問した訪問者の山口市内旅行日程

	日帰り	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊以上	合計
岩国地区	0	81	17	5	3	1	4	111
柳井大島地区	4	22	10	1	1	0	3	41
周南地区	5	49	11	4	2	0	3	74
県央地区	4	79	20	5	0	2	5	115
萩・長門地区	11	189	62	17	3	2	6	290
下関地区	5	119	43	5	0	1	4	177
宇部・小野田地区	6	90	35	8	2	2	5	148
山口県外	6	142	45	11	2	1	4	211
合計	41	771	243	56	13	9	34	1,167

注）複数回答である。

図 1-2-30　山口市外の地区を訪問した訪問者の山口市内旅行日程

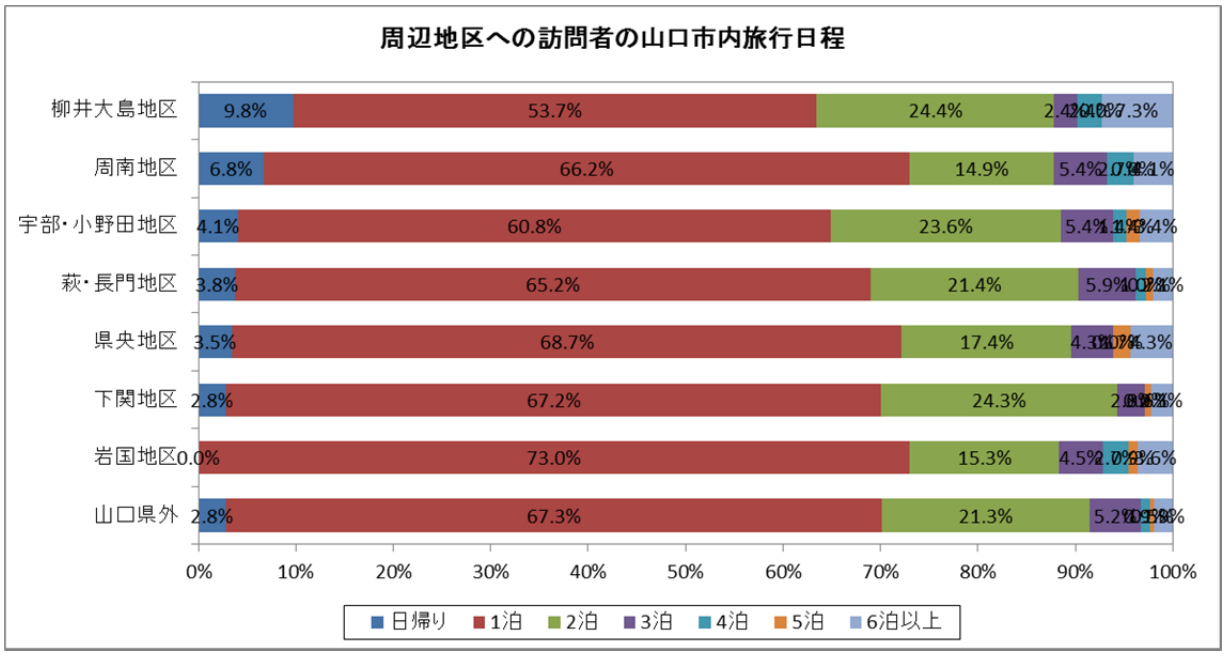


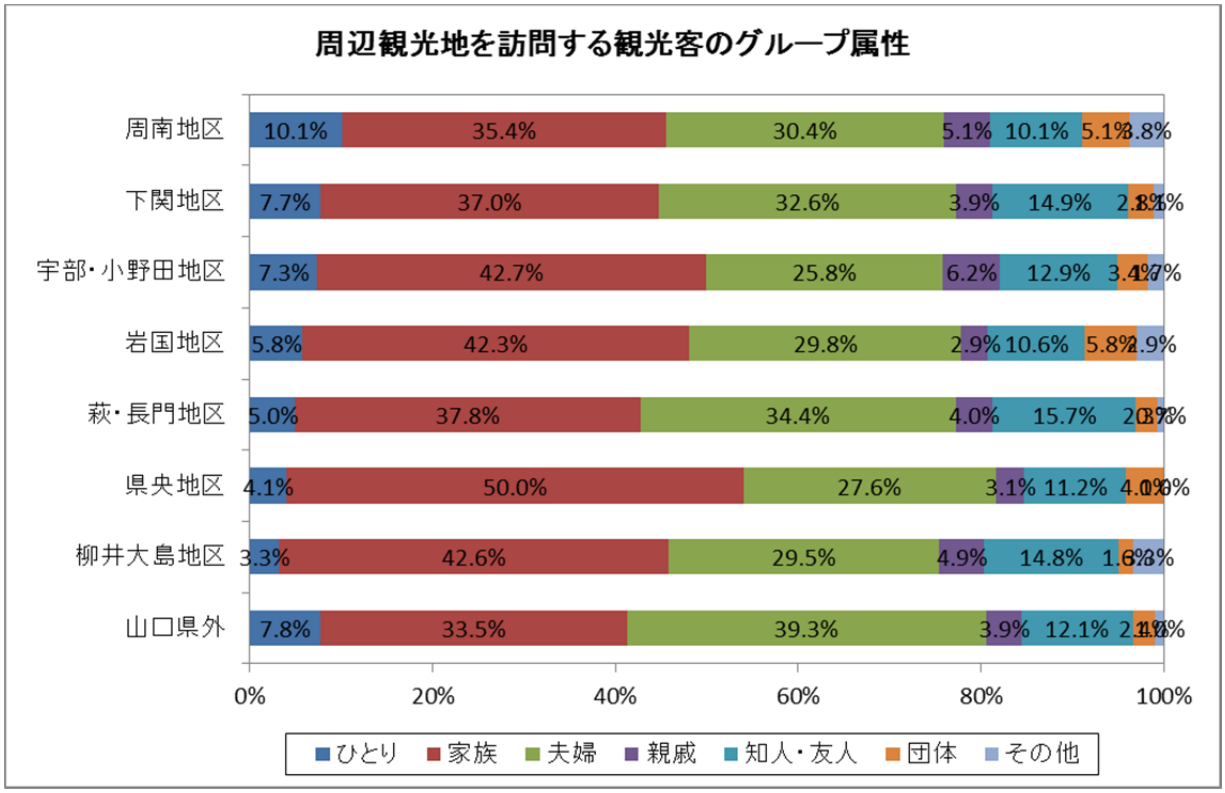
表 1-2-7 は、山口市外の地区を訪問した訪問者のグループ属性を表したものである。山口市外の地区を訪問する訪問者は家族連れや夫婦が多く、2 つの合計がすべての地区で半数を占めている。家族で訪問する地区は 50.0%で県央地区が最も多く、次いで宇部・小野田地区が 42.7%、柳井大島地区が 42.6%となっている。

表 1-2-7　山口市外の地区を訪問した訪問者のグループ属性

	ひとり	家族	夫婦	親戚	知人・友人	団体	その他	合計
岩国地区	15	49	53	7	15	2	2	143
柳井大島地区	8	25	18	1	11	0	2	65
周南地区	20	46	32	3	14	1	1	117
県央地区	26	55	54	4	29	6	2	176
萩・長門地区	43	143	124	18	54	9	4	395
下関地区	27	101	73	11	27	4	7	250
宇部・小野田地区	38	78	65	11	23	4	6	225
山口県外	33	97	87	12	22	5	7	263
合計	210	594	506	67	195	31	31	1,634

注）複数回答である。

図 1-2-31　山口市外の地区を訪問した訪問者のグループ属性



1-2-6　旅行のきっかけとなった情報源

(1)　単純集計結果

表 1-2-8 は、旅行のきっかけとなった情報源の単純集計結果である。山口市を訪れた旅行者が参考にした、または、今回の旅行のきっかけとなった情報源は、知人・友人が 19.3%で最多であった。次いでインターネットが 12.5%で、テレビが 10.6%であった。

表 1-2-8　旅行のきっかけとなった情報源

訪問者の情報源	回答数	割合
テレビ	135	10.6%
ラジオ	9	0.7%
新聞	36	2.8%
旅行誌	68	5.3%
ガイドブック	87	6.8%
ポスター	9	0.7%
行政および観光協会のパンフレット	69	5.4%
旅行会社のパンフレット	57	4.5%
友人・知人	246	19.3%
インターネット	159	12.5%
その他	397	31.2%
合計	1,272	100.0%

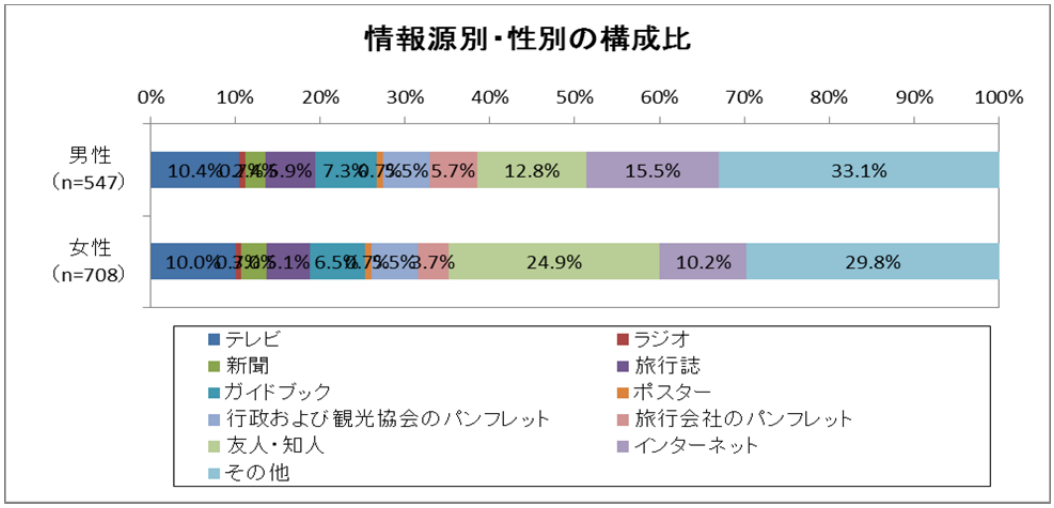
(2)　性別の情報源

表 1-2-9 は、旅行のきっかけとなった情報源を性別に示している。大きな差がみられるものでは、知人・友人で女性が男性よりも割合が 2 倍ほど高く、インターネットでは、男性が上回っているものの、それ以外の情報源では男女で大きな差がみられない。

表 1-2-9　性別の情報源

	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌	ガイドブック	ポスター	行政および観光協会のパンフレット	旅行会社のパンフレット	友人・知人	インターネット	その他	合計
男性	57	4	13	32	40	4	30	31	70	85	181	547
女性	71	5	21	36	46	5	39	26	176	72	211	708
合計	128	9	34	68	86	9	69	57	246	157	392	1,255

図 1-2-32　情報源別・性別の構成比



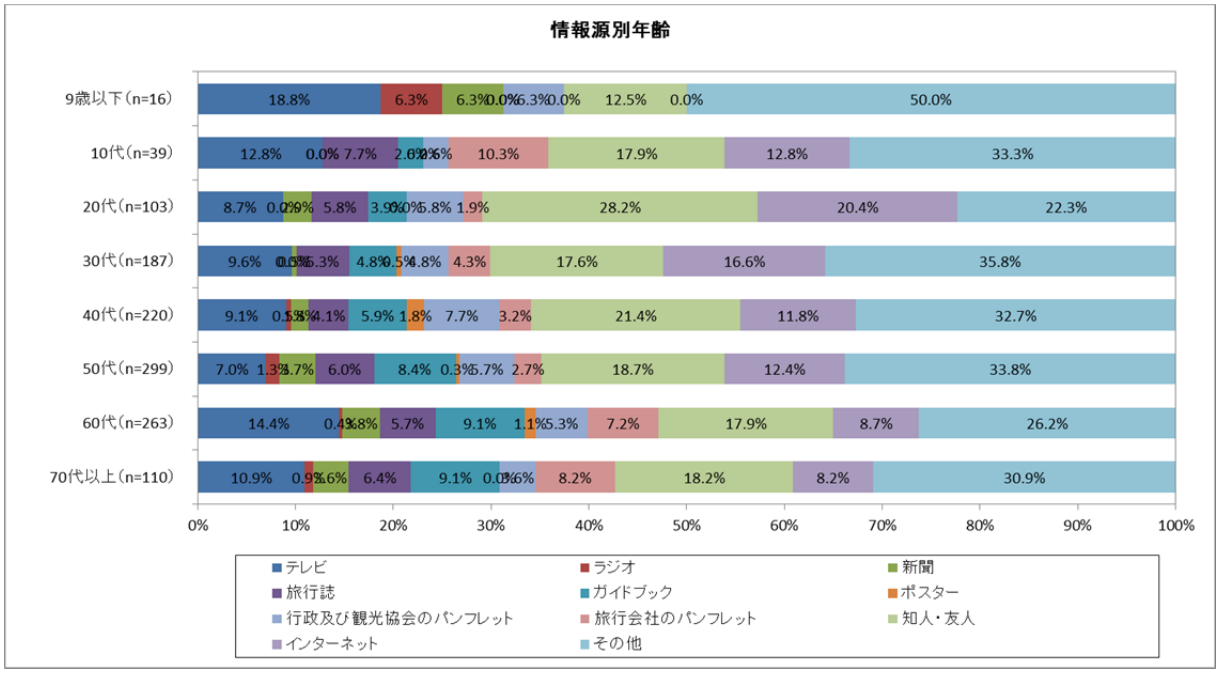
(3)　年齢別の情報源

表 1-2-10 は、年齢別にどのような情報源を利用したのかを示している。知人・友人と答えた比率がどの年代でも多くなっており、約 2 割を占めている。交友関係や口コミが観光のきっかけになっているということは、世代を超えて当てはまると考えられる。

表 1-2-10　年齢別の情報源

	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌	ガイドブック	ポスター	行政及び観光協会のパンフレット	旅行会社のパンフレット	知人・友人	インターネット	その他	合計
9歳以下	3	1	1	0	0	0	1	0	2	0	8	16
10代	5	0	0	3	1	0	1	4	7	5	13	39
20代	9	0	3	6	4	0	6	2	29	21	23	103
30代	18	0	1	10	9	1	9	8	33	31	67	187
40代	20	1	4	9	13	4	17	7	47	26	72	220
50代	21	4	11	18	25	1	17	8	56	37	101	299
60代	38	1	10	15	24	3	14	19	47	23	69	263
70代以上	12	1	4	7	10	0	4	9	20	9	34	110
合計	126	8	34	68	86	9	69	57	241	152	387	1,237

図 1-2-33　年齢別の情報源



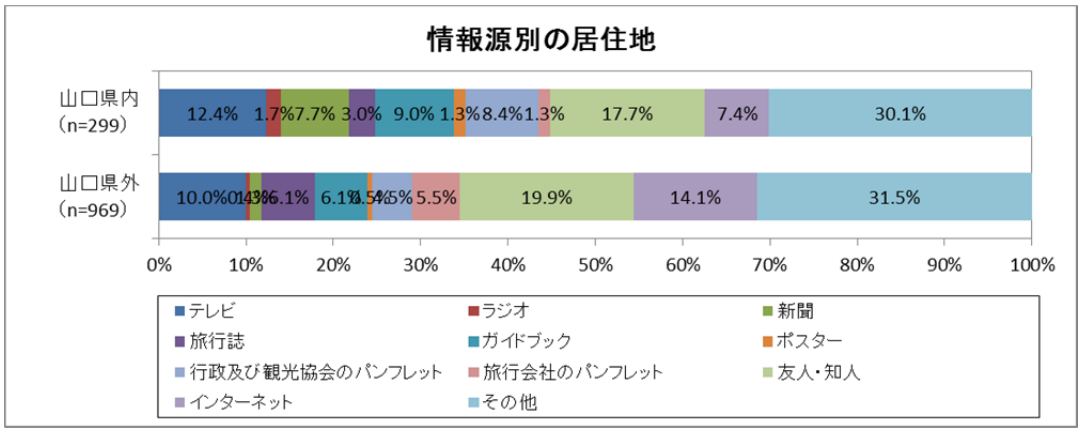
(4) 居住地別の情報源

表 1-2-11 は、居住地別の情報源を示したものである。居住地と情報源の関係をみると、旅行会社のパンフレット、インターネット、旅行誌では、県外居住者の比率が高い。一方、県内居住者ではテレビや新聞、行政および観光協会のパンフレットの割合が比較的高くなっており、地元からの情報発信の効果も結果に表れている。

表 1-2-11　居住地別の情報源

	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌	ガイドブック	ポスター	行政及び観光協会のパンフレット	旅行会社のパンフレット	友人・知人	インターネット	その他	合計
県内	37	5	23	9	27	4	25	4	53	22	90	299
県外	97	4	13	59	59	5	44	53	193	137	305	969
合計	134	9	36	68	86	9	69	57	246	159	395	1,268

図 1-2-34　居住地別の情報源

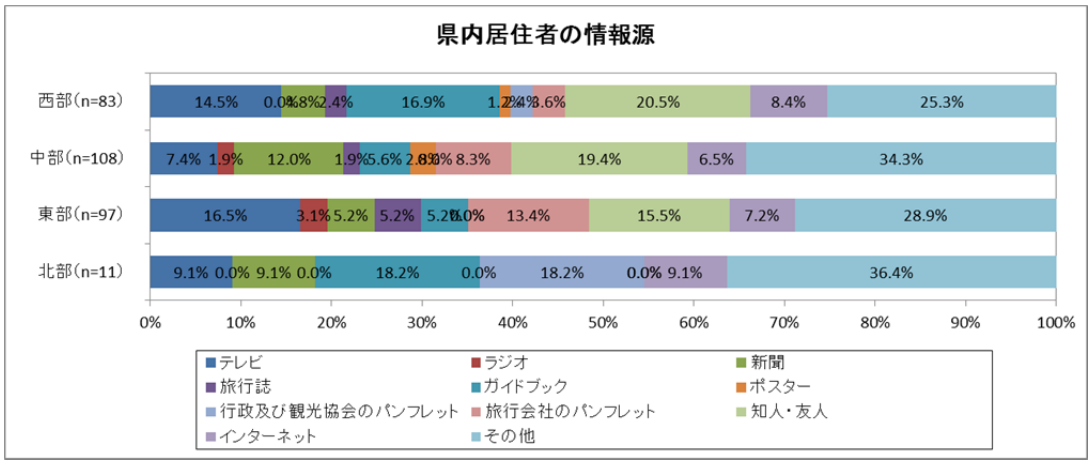


次に、表 1-2-12 で県内居住者の居住地域別の情報源についてみると、西部、中部、東部からの旅行者が大半を占めるなか、知人・友人が比較的高い比率を示している。また、西部と東部ではテレビの割合も比較的高くなっている。北部は回答者数が少ないので、結果の解釈には注意が必要である。

表 1-2-12　県内居住者の情報源

	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌	ガイドブック	ポスター	行政および観光協会のパンフレット	旅行会社のパンフレット	友人・知人	インターネット	その他	合計
西部	12	0	4	2	14	1	2	3	17	7	21	83
中部	8	2	13	2	6	3	0	9	21	7	37	108
東部	16	3	5	5	5	0	0	13	15	7	28	97
北部	1	0	1	0	2	0	2	0	0	1	4	11
合計	37	5	23	9	27	4	4	25	53	22	90	299

図 1-2-35　県内居住者の情報源

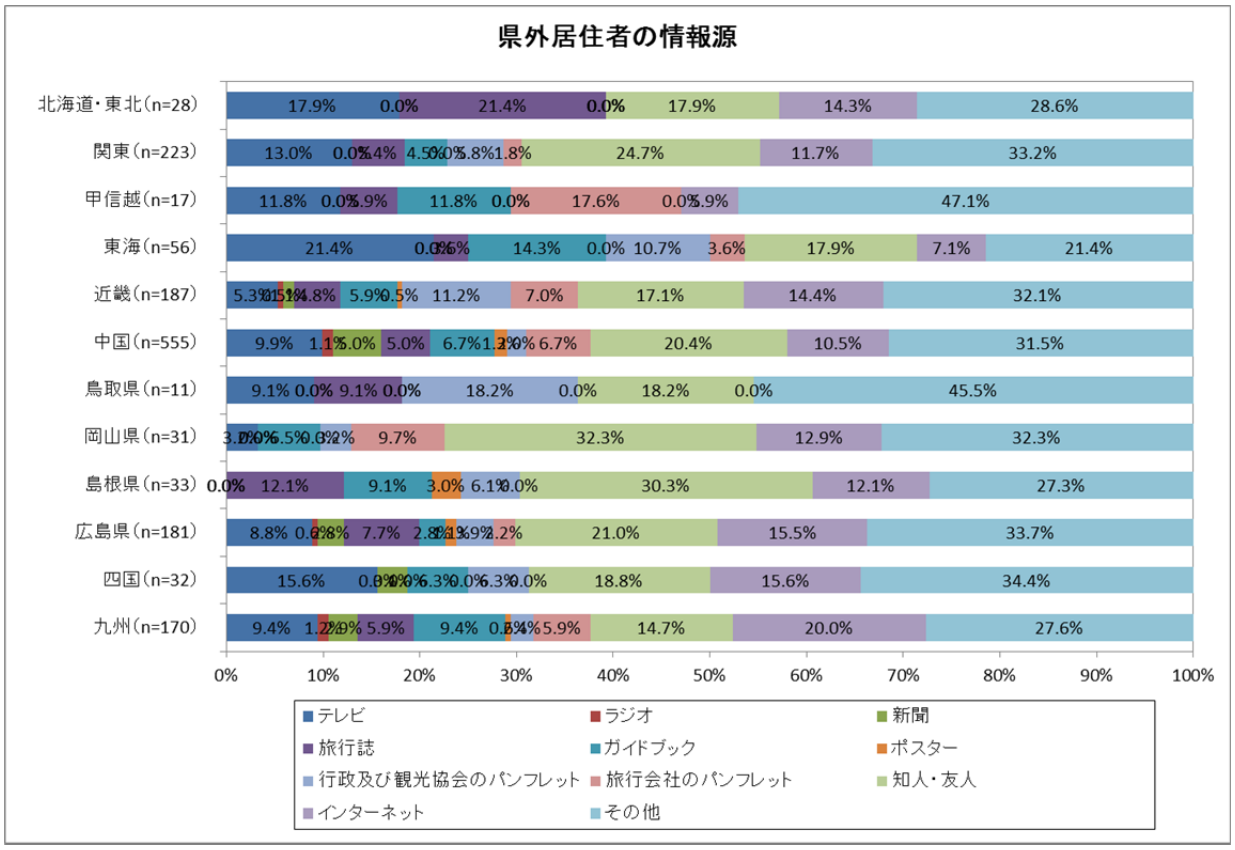


また、表 1-2-13 は、県外居住者の居住地域別の情報源を示している。旅行者が最多の中国地方で、知人・友人の比率が比較的大きい。東海や関東、九州、四国地方も知人・友人の割合が高い。知人・友人に次いで比率が高いのはテレビとインターネットである。回答数が一定数以上ある地域では、知人・友人、インターネット、テレビ、ガイドブックの比率が大きいため、遠方から来る旅行客に対しては、インターネットやテレビなどで魅力的な情報を発信していくことが重要である。

表 1-2-13　県外居住者の情報源

	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌	ガイドブック	ポスター	行政および観光協会のパンフレット	旅行会社のパンフレット	友人・知人	インターネット	その他	合計
北海道・東北	5	0	0	6	0	0	0	0	5	4	8	28
関東	29	0	0	12	10	0	13	4	55	26	74	223
甲信越	2	0	0	1	2	0	0	3	0	1	8	17
東海	12	0	0	2	8	0	6	2	10	4	12	56
近畿	10	1	2	9	11	1	21	13	32	27	60	187
中国	55	6	28	28	37	7	11	37	113	58	175	555
鳥取県	1	0	0	1	0	0	2	0	2	0	5	11
岡山県	1	0	0	0	2	0	1	3	10	4	10	31
島根県	0	0	0	4	3	1	2	0	10	4	9	33
広島県	16	1	5	14	5	2	7	4	38	28	61	181
四国	5	0	1	0	2	0	2	0	6	5	11	32
九州	16	2	5	10	16	1	4	10	25	34	47	170
合計	134	9	36	68	86	9	57	69	246	159	395	1,268

図 1-2-36　県外居住者の情報源



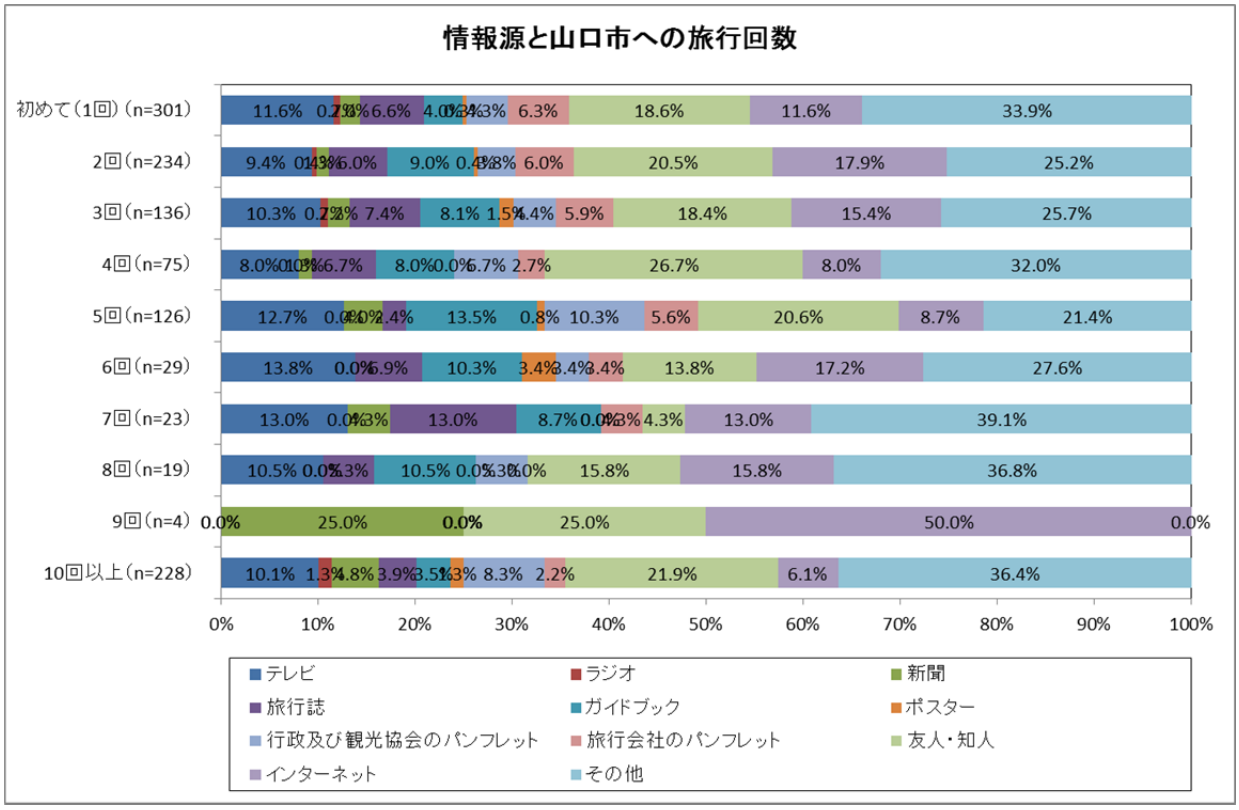
(5) 情報源と山口市への旅行回数

表 1-2-14 は、山口市への旅行回数と利用した情報源との関係を示している。初めて（1 回）では知人・友人が最も多く、次にインターネットが多い。訪問回数が増えるにつれて、テレビや新聞、旅行誌などの紙媒体の割合も高くなっていることから、リピーターを呼び込むためのメディアの利用方法にも検討が必要といえる。

表 1-2-14　情報源と山口市への旅行回数

	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌	ガイドブック	ポスター	行政および観光協会のパンフレット	旅行会社のパンフレット	友人・知人	インターネット	その他	合計
初めて（1回）	35	2	6	20	12	1	13	19	56	35	102	301
2回	22	1	3	14	21	1	9	14	48	42	59	234
3回	14	1	3	10	11	2	6	8	25	21	35	136
4回	6	0	1	5	6	0	5	2	20	6	24	75
5回	16	0	5	3	17	1	13	7	26	11	27	126
6回	4	0	0	2	3	1	1	1	4	5	8	29
7回	3	0	1	3	2	0	0	1	1	3	9	23
8回	2	0	0	1	2	0	1	0	3	3	7	19
9回	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	4
10回以上	23	3	11	9	8	3	19	5	50	14	83	228
合計	125	7	31	67	82	9	67	57	234	142	354	1,175

図 1-2-37　情報源と山口市への旅行回数



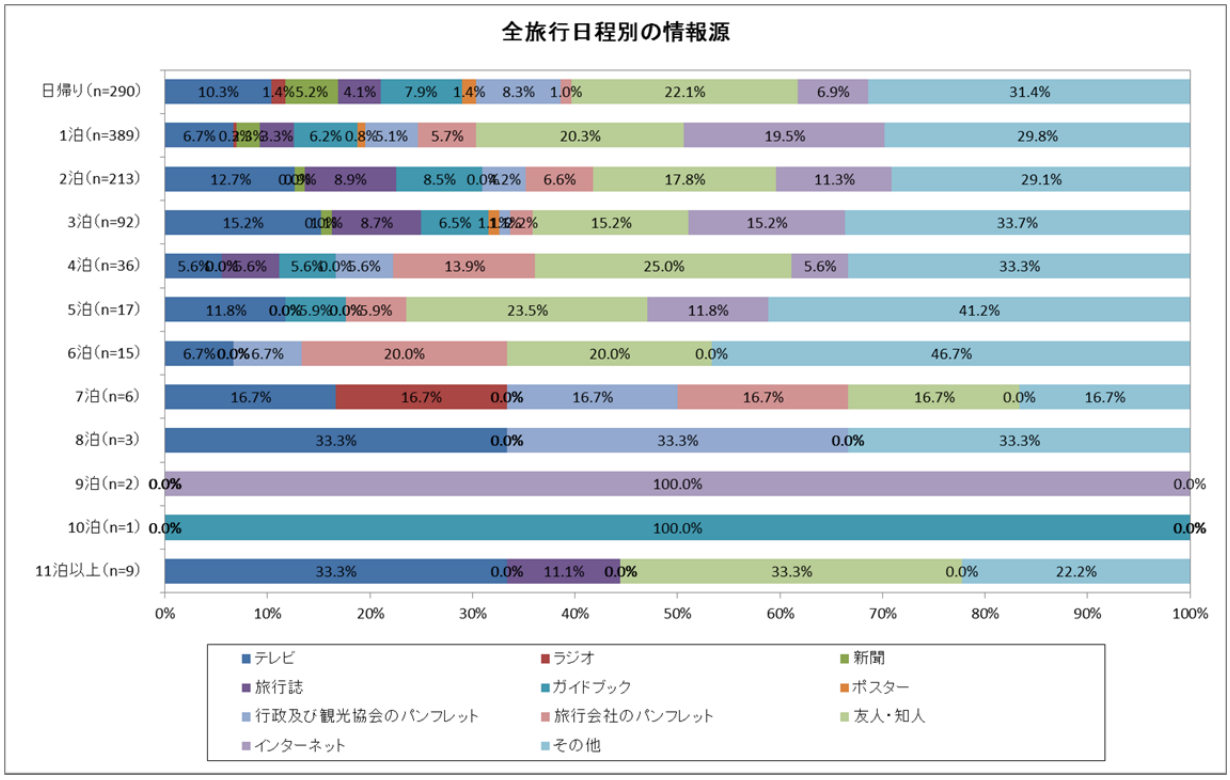
(6)　情報源と旅行の全行程

表 1-2-15 は、旅行のきっかけとなった情報源と旅行の全行程の関係を示したものである。5 泊より短い旅行日程でも知人・友人の比率が高く、やはり口コミの効果は大きい。次いで、テレビやインターネットの割合が高くメディアの利用も効果があるといえる。

表 1-2-15　情報源と旅行の全行程

	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌	ガイドブック	ポスター	行政及び観光協会のパンフレット	旅行会社のパンフレット	友人・知人	インターネット	その他	合計
日帰り	30	4	15	12	23	4	24	3	64	20	91	290
1泊	26	1	9	13	24	3	20	22	79	76	116	389
2泊	27	0	2	19	18	0	9	14	38	24	62	213
3泊	14	0	1	8	6	1	1	2	14	14	31	92
4泊	2	0	0	2	2	0	2	5	9	2	12	36
5泊	2	0	0	0	1	0	0	1	4	2	7	17
6泊	1	0	0	0	0	0	1	3	3	0	7	15
7泊	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	6
8泊	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
9泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
10泊	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
11泊以上	3	0	0	1	0	0	0	0	3	0	2	9
合計	107	6	27	55	75	8	59	51	215	140	330	1,073

図 1-2-38　全旅行日程別の情報源



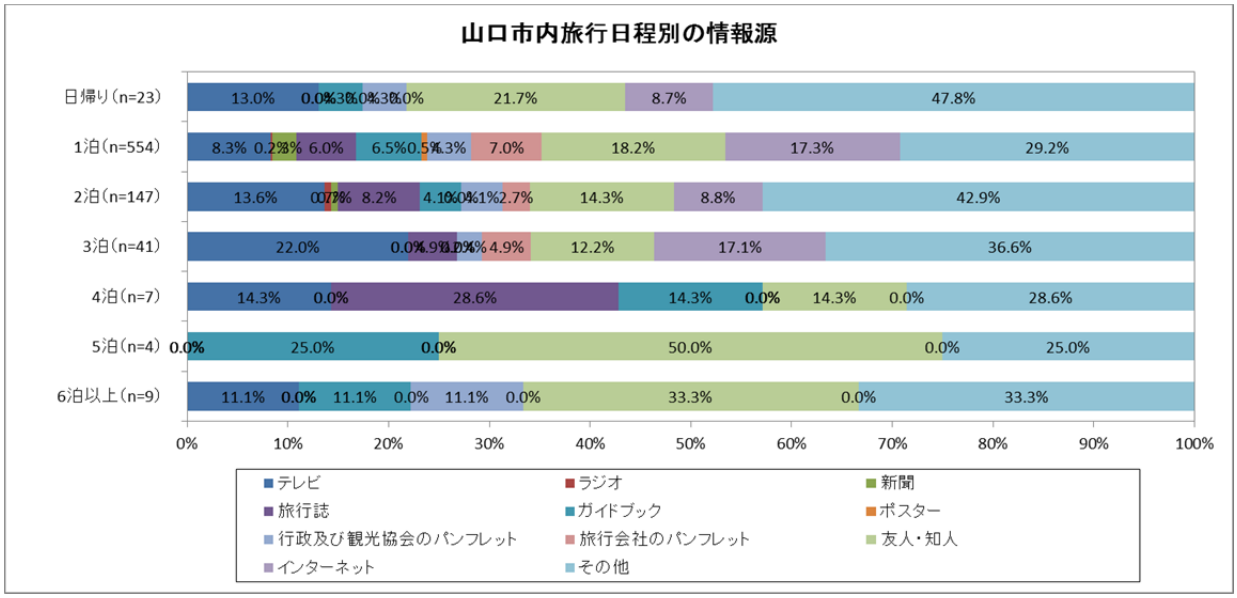
(7)　情報源と山口市内旅行日程

表 1-2-16 は、全旅行日程で宿泊している旅行者のうち、山口市内での旅行日程と旅行のきっかけとなった情報源との関係を示したものである。日帰り、1 泊、2 泊では知人・友人の比率が最も高く、やはり口コミの効果は大きい。次いでインターネットが大きく、旅行誌、ガイドブック、テレビが続く。山口市での宿泊者を増やすには口コミに加え、インターネットや旅行誌を充実させる必要がある。

表 1-2-16　情報源と旅行日程

	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌	ガイドブック	ポスター	行政及び観光協会のパンフレット	旅行会社のパンフレット	友人・知人	インターネット	その他	合計
日帰り	3	0	0	0	1	0	1	0	5	2	11	23
1泊	46	1	13	33	36	3	24	39	101	96	162	554
2泊	20	1	1	12	6	0	6	4	21	13	63	147
3泊	9	0	0	2	0	0	1	2	5	7	15	41
4泊	1	0	0	2	1	0	0	0	1	0	2	7
5泊	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	4
6泊以上	1	0	0	0	1	0	1	0	3	0	3	9
合計	80	2	14	49	46	3	33	45	138	118	257	785

図 1-2-39　旅行日程別の情報源



(8) 情報源と旅行グループ

表 1-2-17 は、旅行グループと情報源の関係を示したものである。回答数の多いのは家族、次に多いのが夫婦、知人・友人である。家族、夫婦では知人・友人の比率が最も高くなっており、次いでインターネット、テレビ、ガイドブックと続いている。口コミ以外の情報の利用状況は旅行グループによってさまざまであるといえる。知人・友人または親戚のグループでは、友人・知人を情報源とする比率が比較的高く、約 4 割を占めている。

表 1-2-17　情報源と旅行グループ

	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌	ガイドブック	ポスター	行政及び観光協会のパンフレット	旅行会社のパンフレット	友人・知人	インターネット	その他	合計
ひとり	14	1	4	5	5	4	16	0	27	31	65	172
家族	51	4	11	22	43	1	26	20	68	66	152	464
夫婦	36	0	11	30	25	1	18	23	47	46	93	330
親戚	4	0	0	0	1	2	0	1	19	1	15	43
友人・知人	14	3	8	9	3	1	5	6	70	9	27	155
団体	4	0	0	1	0	0	2	1	3	0	14	25
その他	4	0	0	0	0	0	0	1	5	3	16	29
合計	127	8	34	67	77	9	67	52	239	156	382	1,218

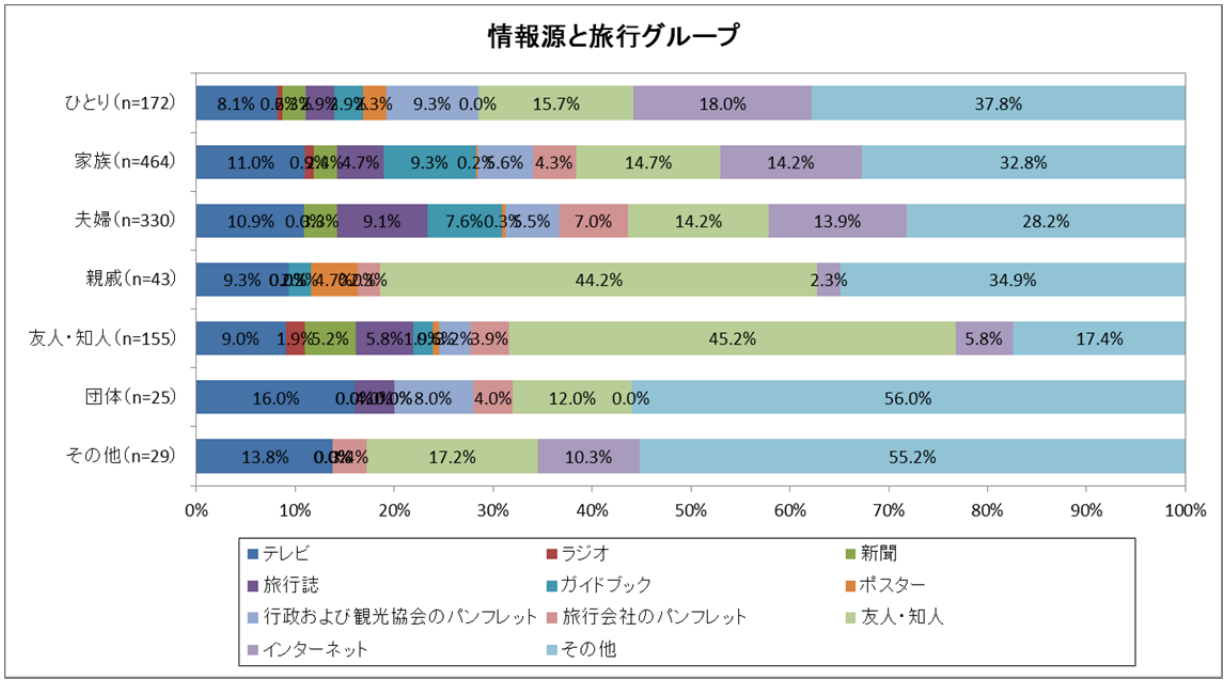



図 1-2-40　情報源と旅行グループ